

目 次

【一般科目】（機械工学科・電気工学科・物質工学科・建設環境工学科）

教育課程	1-1	文学（古典）	第4学年	1-39	
基礎数学A-1	第1学年	1-2	社会科学特講Ⅰ	第4学年	1-40
基礎数学A-2	第1学年	1-3	社会科学特講Ⅱ	第4学年	1-41
基礎数学B	第1学年	1-4	体育	第4学年	1-42
物理	第1学年	1-5	第2外国語Ⅰ	第4学年	1-43
化学	第1学年	1-6	英語	第5学年	1-44
英語A	第1学年	1-7	人間科学特講	第5学年	1-45
英語B	第1学年	1-8	体育	第5学年	1-46
英会話Ⅰ	第1学年	1-9	英会話Ⅱ	第5学年	1-47
国語	第1学年	1-10	第2外国語Ⅱ	第5学年	1-48
人文・社会科学基礎ⅠA	第1学年	1-11			
人文・社会科学基礎ⅠB	第1学年	1-12			
保健・体育	第1学年	1-13			
美術	第1学年	1-14			
線形代数	第2学年	1-15			
微積分1	第2学年	1-16			
微積分2	第2学年	1-17			
物理	第2学年	1-18			
化学	第2学年	1-19			
英語A	第2学年	1-20			
英語B	第2学年	1-21			
国語	第2学年	1-22			
人文・社会科学概論A	第2学年	1-23			
人文・社会科学概論B	第2学年	1-24			
社会調査法	第2学年	1-25			
保健・体育	第2学年	1-26			
ミニ研究	第2学年	1-27			
微積分A	第3学年	1-28			
微積分B	第3学年	1-29			
英語A	第3学年	1-30			
国語	第3学年	1-31			
地理	第3学年	1-32			
保健・体育	第3学年	1-33			
英語	第4学年	1-34			
文学（現代）	第4学年	1-35			
文学（古典）	第4学年	1-36			
文学（古典）	第4学年	1-37			
文学（現代）	第4学年	1-38			

一般科目

11

12

13

14

平成18年度 学年別教育課程

〔一般科目〕その1

(機械工学科, 電気工学科, 物質工学科, 建設環境工学科共通)

	授業科目	単位数	学年別					備考
			1	2	3	4	5	
必修科目	数学	基礎数学 A -1	2					
		基礎数学 A -2	2					
		基礎数学 B	3					
		線形代数		2				
		微積分 1		2				
		微積分 2		2				
		微積分 A				3		
	微積分 B				3			
	理科	物理		2	3			
		化学		3	2			
	外国語	英語 A		3	3	4		
		英語 B		2	2			
		英会話 I		1				
	国語	英語					2	1
		国語学		3	3	2		
	人文社会	文学					1	
		人文・社会科学基礎 IA		1				
		人文・社会科学基礎 IB		1				
		人文・社会科学概論A			1			
		人文・社会科学概論B			1			
		社会科学調査法			1			
		地理				2		
		社会科学特講 I					1	
		社会科学特講 II					1	
		人間科学特講						2
	保健体育	保健・体育		2	2	2		
体育						1	1	
芸術	美術		1					
ミニ	研究			1				
開設単位小計			26	25	16	6	4	
選択科目	外国語	第2外国語 I				2		
		英会話 II					2	
		第2外国語 II					2	
	課題演習				1~2			
開設単位小計(課題演習を除く)			0	0	0	2	4	
開設単位合計 (課題演習を除く)			26	25	16	8	8	
修得可能単位数 (課題演習を除く)			26	25	16	8	6	

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
基礎数学A-1 Basic Mathematics A-1	1	2 (60)	必修	前期 週4時間 A	機・建: 新井 広 電・物: 島袋 修
授業概要	2年生以降の数学の基礎となる数と式の計算、方程式と不等式について学習する。				
到達目標	①整式、分数式、無理式、複素数の計算ができる。 ②2次方程式や2次不等式を解くことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1). (B-3). (D-1). (D-2).				
履修上の注意	数学の解答の書き方にも注意して、予習・復習をすること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	整式の計算 整式の計算 整式の計算 いろいろな数と式 いろいろな数と式 整式の計算、いろいろな数と式 前期中間試験 方程式 方程式 方程式 不等式 不等式 不等式 不等式 不等式 不等式 不等式 実施する		整式の加法・減法・乗法 因数分解 整式の除法、剰余の定理と因数定理 分数式の計算 実数、平方根、複素数 演習問題 2次方程式、解と係数の関係 恒等式、等式の証明 演習問題 不等式の性質、1次不等式の解法 いろいろな不等式 不等式の証明 集合・命題 演習問題		
教科書	新訂 基礎数学 斎藤 斉ほか 大日本図書; 新編高専の数学1問題集 田代嘉宏 森北出版; 新編高専の数学2問題集 田代嘉宏 森北出版				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、課題・小テスト等30%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
基礎数学A-2 Basic Mathematics A-2	1	2 (60)	必修	後期 週4時間 A	機・建: 新井 広 電・物: 島袋 修
授業概要	2年生以降の学習の基礎となる基礎的な関数および場合の数と数列を学習する。				
到達目標	①2次関数・べき関数・分数関数・無理関数・逆関数を理解し、そのグラフをかくことができる。 ②順列・組合せを利用する場合の数が計算でき、等差数列・等比数列を理解しその和を計算できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1), (B-3), (D-1), (D-2).				
履修上の注意	数学の解答の書き方にも注意して、予習・復習すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	2次関数 2次関数 2次関数 いろいろな関数 いろいろな関数 2次関数、いろいろな関数 後期中間試験 場合の数 場合の数 場合の数 数列 数列 数列 数列 数列 数列 数列 実施する	関数とグラフ 2次関数のグラフ、最大・最小 2次関数と2次方程式・不等式 べき関数、分数関数 無理関数、逆関数 演習問題 場合の数、順列、組合せ いろいろな順列、2項定理 演習問題 数列、等差数列 等比数列 いろいろな数列の和 漸化式と数学的帰納法 演習問題			
教科書	新訂 基礎数学 斎藤 斉ほか 大日本図書; 高専の数学1問題集 田代嘉宏 森北出版; 高専の数学2問題集 田代嘉宏 森北出版				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、課題・小テスト等30%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
基礎数学B Basic Mathematics B	1	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	機: 山野 和一 電: 西浦孝治, 物・建: 亀井宣男
授業概要	三角関数および指数関数・対数関数を学習する。また、点と直線・2次曲線・不等式と領域など式のあらかず図形についても学習する。				
到達目標	①三角比・弧度法・三角関数および指数関数・対数関数を理解し、計算に習熟する。 ②点と直線・2次曲線・不等式と領域など式のあらかず図形について理解し、計算に習熟する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1). JABEE基準1(1)との対応:(c).				
履修上の注意	予習・復習をかかささない。教科書の間・練習問題を必ず解き、自力でできなかった問題は解決しておくこと。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	三角関数 三角比とその応用		三角比・三角形への応用		
第2週	"		"		
第3週	"		一般角・三角関数・弧度法		
第4週	"		"		
第5週	"		"		
第6週	"		三角関数の性質・三角関数のグラフ		
第7週	前期中間試験				
第8週	一般角・三角関数・弧度法		三角関数の性質・三角関数のグラフ		
第9週	三角関数 加法定理とその応用		加法定理		
第10週	"		加法定理の応用		
第11週	演習		演習問題		
第12週	指数関数と対数関数 指数関数		累乗根・指数の拡張		
第13週	"		"		
第14週	"		指数関数		
第15週	演習		演習問題		
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	指数関数と対数関数 対数関数		対数		
第17週	"		対数関数、常用対数		
第18週	図形と式 点と直線		2点間の距離と内分点		
第19週	"		直線の方程式		
第20週	"		2直線の関係		
第21週	演習		演習問題		
第22週	後期中間試験				
第23週	図形と式 2次曲線		円の方程式		
第24週	"		楕円		
第25週	"		双曲線		
第26週	"		放物線		
第27週	演習		演習問題		
第28週	図形と式 2次曲線		2次曲線の接線		
第29週	"		不等式と領域		
第30週	演習		演習問題		
後期期末試験	実施する				
教科書	新訂 基礎数学、斎藤 斉・高遠 節夫 ほか4名、大日本図書株式会社				
参考図書	新編 高専の数学I問題集、田代嘉宏、森北出版株式会社				
評価方法	定期試験を70%、課題や小テストを30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
物理 Physics	1	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	物・建: 鈴木 三男 機・電: 坂本 道夫
授業概要	運動とエネルギー、運動量について学ぶ。				
到達目標	①物理学の基本的な概念や原理・法則を理解すること。 ②物理学的な考え方を習得すること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1), (B-4).				
履修上の注意	小テストを頻繁に実施するので、副読本を参考に自学自習しておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	直線運動の速度(1)	直線運動の速度、平均の速さ			
第2週	直線運動の速度(2)	瞬間の速さ、速度、相対速度			
第3週	問題演習、ベクトル	直線の速度、ベクトルの合成・分解			
第4週	直線運動の加速度	加速度、等加速度直線運動			
第5週	落体の運動(1)	自由落下、鉛直投射			
第6週	落体の運動(2)	水平投射			
第7週	前期中間試験				
第8週	落体の運動(3)	斜方投射			
第9週	いろいろな力(1)	力、重力、面から受ける力、糸が引く力			
第10週	いろいろな力(2)	弾性力、圧力、浮力			
第11週	力のつりあい	力の合成、作用・反作用			
第12週	運動の法則(1)	運動の法則、慣性の法則			
第13週	運動の法則(2)	運動方程式			
第14週	摩擦等の抵抗を受ける運動	静止摩擦力、動摩擦力			
第15週	問題演習、実験	運動の法則、摩擦力			
前期末試験	実施する				
後期 第16週	剛体(1)	剛体、力のモーメント			
第17週	剛体(2)	偶力、重心			
第18週	仕事	仕事、仕事の原理、仕事率			
第19週	運動エネルギー	運動エネルギー、運動エネルギーと仕事の関係			
第20週	位置エネルギー	位置エネルギー、弾性エネルギー、保存力			
第21週	力学的エネルギー保存	力学的エネルギー保存則			
第22週	後期中間試験				
第23週	問題演習、実験	力学的エネルギー			
第24週	運動量と力積(1)	運動量			
第25週	運動量と力積(2)	運動量と力積の関係			
第26週	運動量保存則(1)	直線運動における運動量保存則			
第27週	運動量保存則(2)	平面運動における運動量保存則			
第28週	反発係数(1)	弾性衝突、非弾性衝突			
第29週	反発係数(2)	衝突による力学的エネルギー変化			
第30週	問題演習、実験	運動量			
後期末試験	実施する				
教科書	高等学校 物理I, II 教研出版, リードα 物理I, II -力学・熱力学編- 教研出版 チャート式 シリーズ 新物理I, II 教研出版				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%、小テストや課題の総点を30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
化学 Chemistry	1	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	物: 内田 修司 機: 梅澤洋史、電: 柴田公彦、建: 羽切正英
授業概要	中学校理科の基礎の上に、さらに進んだ化学的な方法で自然の事物・現象に関する問題を取り扱い、高専における専門教育の基礎となる基本的な概念や原理・法則を理解させるとともに、科学的な思考を修得させる。				
到達目標	①物質を構成する粒子とその結合のしかたを理解し、物質量の計算ができる ②気体と溶液の現象を理解し、気体の計算および濃度計算ができる ③化学反応には熱の出入りがあることを理解し、ヘスの法則を用いて熱量を計算できる。 ④酸・塩基の定義を理解し、中和の計算ができる ⑤酸化・還元の定義を理解し、酸化数を利用できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1)、(A-2)、(B-1)。				
履修上の注意	物質を構成している粒子やその結合など目に見えないものに対する概念を理解すること。化学反応、化学反応式の内容を理解するとともに、量的なものの捉え方ができるように心がけること。予習復習をしっかりとやること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	化学と人間生活	化学とはどんな学問か、化学の役割			
第2週	物質の構成	物質とその成分、純物質と混合物			
第3週	物質の構成粒子(1)	原子、イオン、元素の周期律			
第4週	物質の構成粒子(2)	イオン結合・共有結合・金属結合(化学Ⅱ)			
第5週	粒子の相対質量と物質量(1)	原子量・分子量・式量、物質量			
第6週	粒子の相対質量と物質量(2)	物質量と化学反応式			
第7週	前期中間試験				
第8週	復習	第1-7週目のまとめ、実験(化学反応の量的関係)			
第9週	物質の三態、気体(1)	拡散、三態の変化、ボイル・シャルルの法則、状態方程式(化学Ⅱ)			
第10週	気体(2)	混合気体の圧力、実在気体(化学Ⅱ)			
第11週	気体(3)	気体の復習と実験(気体の分子量)			
第12週	化学平衡、溶液(1)	平衡の考え方、溶解の仕組みと溶解度			
第13週	溶液(2)	飽和溶液、蒸気圧			
第14週	溶液(3)	濃度、希薄溶液(化学Ⅱ)			
第15週	復習	第9-14週目のまとめ			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	溶液(4)	コロイド溶液の性質			
第17週	溶液(5)	溶液の復習、実験(コロイド溶液)			
第18週	化学反応と熱化学方程式(1)	化学反応と熱の出入り			
第19週	化学反応と熱化学方程式(2)	熱化学方程式とヘスの法則			
第20週	化学反応と熱化学方程式(3)	熱化学方程式に関する演習			
第21週	化学反応の速さと平衡(1)	化学反応の速さと化学平衡			
第22週	後期中間試験				
第23週	復習	第16-21週目のまとめ			
第24週	酸と塩基の反応(1)	酸と塩基、水の電離と水溶液のpH			
第25週	酸と塩基の反応(2)	中和反応			
第26週	酸と塩基の反応(3)	酸と塩基の復習、実験(中和滴定)			
第27週	酸化還元反応(1)	酸化と還元			
第28週	酸化還元反応(2)	酸化数			
第29週	酸化還元反応(3)	酸化剤・還元剤			
第30週	復習	第24-29週目のまとめ			
後期期末試験	実施する				
教科書	化学Ⅰ、化学Ⅱ、野村祐次郎他、教研出版;問題集ニューグローバル 化学Ⅰ+Ⅱ 東京書籍				
参考図書	ビジュアルワイド 図説化学 東京書籍				
評価方法	定期試験80%、実験レポート及び課題20%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語A English A	1	3 (90)	必修	通年 週3時間 B	機・建: 西山 公紀 電: 宮澤泰彦 物: 芳賀富士夫 (石原)
授業概要	読み、聞きした英語の内容を理解し、情報や考えを英語で伝える基礎的能力を養う。				
到達目標	発音、語彙、文法、構文を習得し、辞書を用いて英文の大意を把握できるようになること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	辞書を用いてテキストの予習して授業に臨むこと。習得した発音、語彙、文法、構文等を定着させること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	授業概要等の説明、Lesson 1 Imaging the Next ...	授業の進め方、予習方法等			
第2週	Lesson 1 Imaging the Next Century	S + V + O (=how to?, thatなど			
第3週	Lesson 1 Imaging the Next Century	to-不定詞・動名詞			
第4週	Lesson 2 Mukai Chiaki lessons from space	S + V + O + to ?, S + V + O + O			
第5週	Lesson 2 Mukai Chiaki lessons from space	受け身、現在分詞・過去分詞			
第6週	Lesson 3 Fifty Years of Snoopy	S+ V+ 現在分詞			
第7週	前期中間試験				
第8週	Lesson 3 Fifty Years of Snoopy	関係代名詞(who, that, which)			
第9週	Lesson 3 Fifty Years of Snoopy	現在完了			
第10週	Lesson 4 Miho Invites Eric to the Movies	Would you like to?			
第11週	Lesson 4 Miho Invites Eric to the Movies	How about doing ?, Could you ?			
第12週	Lesson 5 Look at the Person I Am Inside	It is ...that...、強調構文			
第13週	Lesson 5 Look at the Person I Am Inside	関係副詞(when)			
第14週	Lesson 5 Look at the Person I Am Inside	過去完了			
第15週	問題演習	前期の総復習			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	Lesson 6 The Trip That Changed My Life	S + V + O + 原形不定詞			
第17週	Lesson 6 The Trip That Changed My Life	現在分詞を用いる分詞構文			
第18週	Lesson 6 The Trip That Changed My Life	関係副詞(when)			
第19週	Lesson 7 The Power Of Music	S + V + O + 現在分詞			
第20週	Lesson 7 The Power Of Music	形式主語 It ...that ...			
第21週	Lesson 7 The Power Of Music	関係副詞(what)			
第22週	後期中間試験				
第23週	Lesson 8 I Need Some Advice	It is important to..., I suggest			
第24週	Lesson 8 I Need Some Advice	First, Second, Third, Finally			
第25週	Lesson 9 Will This Be the Bio-Century	仮定法過去、used to			
第26週	Lesson 9 Will This Be the Bio-Century	助動詞+受け身、once			
第27週	Lesson 9 Will This Be the Bio-Century	It seems that..., 現在完了進行形			
第28週	Lesson 10 A Homestay - Japanese culture	Could you mind if I ...			
第29週	Lesson 10 A Homestay - Japanese culture	I'm afraid if I...			
第30週	問題演習	後期の総復習			
後期期末試験	実施する				
教科書	POLESTAR English Course I、南出康世、教研出版 POLESTAR English Course I、ベーシックノート、南出康世、教研出版、生徒用CD				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%、小テスト・課題等を30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語B English B	1	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	電・物: 西山 公紀 機: 西山(石原)・建: 中山(石原)
授業概要	英語を正しく理解し、英語で自分の考えを表現できるように基礎的な英文法の習得をめざす。				
到達目標	文法の基礎的概念や主要な構文を習得し、英文を正しく理解できるようになること。 また英語で自分の考えを表現できるようになること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	テキストの基本例文を習得することに努力するとともに、練習問題を積極的に解くことによって、応用力を養うようにする。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	文の種類	付加疑問文、命令文、感嘆文			
第2週	文の要素と文型(1)	S+V, S+V+C, S+V+O			
第3週	文の要素と文型(2)	S+V+O+O, S+V+O+C			
第4週	時制(1)	現在形、過去形、単純未来、意志未来			
第5週	時制(2)	現在進行形、過去進行形、未来進行形			
第6週	時制(3)	現在完了形、現在完了進行形			
第7週	前期中間試験				
第8週	時制(4)	過去完了形、未来完了形、完了進行形			
第9週	助動詞(1)	can, may, mustの用法			
第10週	助動詞(2)	will, would, should, shallの用法			
第11週	助動詞(3)	助動詞+have+過去分詞			
第12週	動詞の態(1)	S+V+Oの受動態、受動態の否定形・疑問形			
第13週	動詞の態(2)	受動態の時制、助動詞を含む受動態			
第14週	動詞の態(3)	S+V+O+O / SVOCの受動態			
第15週	問題演習	前期の総復習			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	不定詞(1)	不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法			
第17週	不定詞(2)	不定詞の意味上の主語、原形不定詞			
第18週	不定詞(3)	完了不定詞、独立不定詞			
第19週	不定詞(4)	不定詞の慣用表現			
第20週	動名詞(1)	動名詞の基本、動名詞の意味上の主語			
第21週	動名詞(2)	完了動名詞、目的語としての動名詞と不定詞			
第22週	後期中間試験				
第23週	動名詞(3)	動名詞の慣用表現			
第24週	分詞(1)	分詞の限定用法、叙述用法			
第25週	分詞(2)	分詞構文の基本形、分詞構文の意味			
第26週	分詞(3)	完了形の分詞構文、独立分詞構文			
第27週	分詞(4)	分詞構文の慣用表現			
第28週	比較(1)	原級の比較表現、比較級を使った表現			
第29週	比較(2)	最上級の内容を表わす原級・比較級表現			
第30週	問題演習	後期の総復習			
後期期末試験	実施する				
教科書	DUAL SCOPE English Grammar in 45 Stages、小寺茂明監修、教研出版 デュアルスコープ総合英語、小寺茂明監修、教研出版				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%、小テスト・課題等の総点を30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英会話 I English Conversation I	1	1 (30)	必修	通年 週1時間 C	機・電 坂内 キャシー 渡辺エリカ・高橋キース
授業概要	The primary focus of this course is spoken English. Students will use English in a variety of everyday situations. Written work will supplement these topics.				
到達目標	1.Gain fluency in asking and responding to yes/no and wh-questions, and talking about their everyday lives and Japanese culture 2.Gain fluency in expressing opinions with supporting reasons 3.Develop their ability to make short presentations in English 4.Improve their skill at listening for both general and specific information				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	授業中の言語活動に積極的に参加すること。自らコミュニケーションをしようとする態度を身につける努力をすること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	Getting to know your teacher		Interviewing		
第2週	Getting to know each other		Interviewing, likes/dislikes		
第3週	Dates & Ordinal Numbers		Personal Information		
第4週	Personal information about classmates		Personal Information about Others		
第5週	Personal information about others		Favorites		
第6週	Favorites		Counters & Singular/Plural		
第7週	Likes and Dislikes		Greeting someone, ending a conversation		
第8週	Counters & Singular/Plural		Eating and drinking habits		
第9週	Wh-Questions		Movies, music, TV		
第10週	Can & Can't		abilities		
第11週	Prepositions of Place		Describing locations		
第12週	Sports		Giving opinions, sports		
第13週	Simple Present and Describing Things		Describing things, animal names		
第14週	Family		Asking and talking about family & relatives		
第15週	Telling Time		Telling time, numbers		
前期期末試験	実施しない				
後期 第16週	Jobs		Asking about work, occupations		
第17週	Parts of the Body		Parts of the body		
第18週	Making Comparisons		Making Comparisons		
第19週	Numbers		Numbers, math		
第20週	Present Progressive		Describing present actions		
第21週	Countries, Nationalities & Languages		Countries, nationalities, languages		
第22週	Directions Part 1: Asking and Giving Directions		Describing locations, giving and asking directions		
第23週	Directions Part 2: Directions Race		Consolidations of Unit 22		
第24週	Subway Directions		Giving subway directions		
第25週	Simple Past Tense Part 1: Questions		Talking about experiences		
第26週	Simple Past Tense Part 2: Telling a Story		Telling a story		
第27週	Present Perfect		Talking and asking about experiences		
第28週	Future: going to		Talking about future events		
第29週	Past Progressive		Talking about a specific point		
第30週	Describing & Defining Things		Describing and defining things, food, colors		
後期期末試験	実施しない				
教科書	Talk a Lot: Junior Senior (yellow cover); David Martin, EFL Press				
参考図書					
評価方法	平素の成績(小テスト、課題等)を100%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
国語 Japanese	1	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	機・電・建: 高野 克宏 物: 蛭田 徹
授業概要	近代・現代の文章、古文、漢文を読み、文章の内容を正しく読み取る力を養う。				
到達目標	現代文においては、筆者の言おうとしていることを理解できるようにする。古文、漢文においては、基本的な語彙や正確な文法の知識を身につけ、作品の大意を把握できるようにする。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-3).				
履修上の注意	授業には必ず予習をして臨むこと。不明な語句がある場合は、自ら国語辞典・古語辞典・漢和辞典を引いて調べる習慣を身に付けること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	現代文:随想		「かつては、道に迷う自由もあった」		
第2週	現代文:随想		「かつては、道に迷う自由もあった」		
第3週	古文:説話		「田舎の児・・・」(『宇治拾遺物語』)		
第4週	現代文:小説1		「羅生門」		
第5週	現代文:小説1		「羅生門」		
第6週	現代文:小説1		「羅生門」		
第7週	前期中間試験				
第8週	漢文:格言と故事		格言		
第9週	漢文:格言と故事		故事(矛盾・推敲)		
第10週	漢文:格言と故事		故事(借虎威)		
第11週	現代文:評論1		「水の東西」		
第12週	現代文:評論1		「水の東西」		
第13週	現代文:小説2		「津軽」		
第14週	現代文:小説2		「津軽」		
第15週	現代文:小説2		「津軽」		
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	古文:説話		用言の活用		
第17週	古文:説話		「源頼義、馬盗人を・・・」(『今昔物語集』)		
第18週	古文:説話		「源頼義、馬盗人を・・・」(『今昔物語集』)		
第19週	現代文:評論2		「ものと記号」		
第20週	現代文:評論2		「ものと記号」		
第21週	漢文:唐代の詩文		唐詩(「登鶴鶴樓」「絶句」ほか)		
第22週	後期中間試験		null		
第23週	現代文:小説3		「カプリンスキー氏」		
第24週	現代文:小説3		「カプリンスキー氏」		
第25週	現代文:小説3		「カプリンスキー氏」		
第26週	古文:随筆		「雪のおもしろう降りたりし朝」(『徒然草』)		
第27週	古文:随筆		「応長のころ、伊勢国より」(『徒然草』)		
第28週	古文:随筆		「花は盛りに」(『徒然草』)		
第29週	現代文:詩歌		「鶯のうへ」「ぼろぼろな駝鳥」ほか		
第30週	現代文:詩歌		「十五の心」一短歌抄		
後期期末試験	実施する				
教科書	『精選国語総合』東京書籍、『絶対合格 漢字検定問題集4級…2級』東京書籍				
参考図書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典(各自用意すること)				
評価方法	定期試験の成績を80%、小テストや課題の総点を20%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学基礎IA Introduction to Humanities and Social Sciences IA	1	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	笠井 哲
授業概要	人生の諸問題を正しく判断できるようになるために、西洋古代・中世(ギリシアとキリスト教)と日本古代・中世(神道と仏教)の先哲たちの基本的な思想、すなわち「倫理」を中心に、古代・中世の歴史や青年心理学等についても学習する。				
到達目標	①日本古代・中世の歴史・思想・文化や青年心理学を学ぶことによって、各自アイデンティティを確立することができる。 ②西洋古代・中世の哲学・倫理学・宗教だけでなく、文化や習慣等、広義の「倫理」的な事象を理解することができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (A-3), (A-4), (A-5).				
履修上の注意	「倫理」という学問の性格上、知識を記憶するだけにとどまらずに、自分で考えて判断することが大切である。自分の問題として考えたことを、自分の言葉で表現(レポート)できるようにすること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期末試験	倫理とは何か 人間とは何か 青年期の特徴 自己実現とは何か 日本の風土と文化 古代日本の歴史と思想 中世日本の歴史と思想 神話から哲学へ ギリシアの三大哲学者(1) ギリシアの三大哲学者(2) ギリシアの三大哲学者(3) ヘレニズムとヘブライズム キリスト教の成立と思想 イスラム教の成立と思想 まとめ 実施する		倫理および倫理学に関するさまざまな定義 人間に関するさまざまな定義 モラリアムとアイデンティティの意義 キャリア・ディヴェロップメントの意義 和辻哲郎の『風土』における思想の意義 古代の神々と清明心の意義 日本の仏教、特に鎌倉新仏教の意義 自然哲学者とソフィストの思想的意義 倫理学の祖・ソクラテス プラトンのイデア論 万学の祖・アリストテレスの思想的意義 エピクロスとストア、イスラエルの歴史とユダヤ教 イエスの福音思想の意義とその発展 ムハンマドの思想の意義 青年心理学と倫理学を学ぶ意義		
教科書	哲学・倫理学概論、松島隆裕他、学術図書出版社; 哲学的思索への道、笠井貞他、文化書房博文社; 精選資料新倫理、令文社				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を75%、課題等の総点を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学基礎IB Introduction to Humanities and Social Sciences IB	1	1 (30)	必修	後期 週2時間 B	笠井 哲
授業概要	人生の諸問題を正しく判断できるようになるために、西洋近代(宗教改革、カント、功利主義)と東洋(インド・中国)の基本的な思想、すなわち「倫理」を学習する。それとともに、専門職業人に必要な「職業倫理(技術者倫理)」について学ぶ。				
到達目標	①西洋近代と東洋の哲学・倫理学・宗教だけでなく、文化や習慣等、広義の「倫理」的な事象を理解することができる。 ②①に基づいて、専門職業人に求められる「職業倫理」、特に「技術者倫理」に対する考え方を確立することができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5).				
履修上の注意	「倫理」という学問の性格上、知識を記憶するだけにとどまらずに、自分で考えて判断することが大切である。自分の問題として考えたことを、自分の言葉で表現(レポート)できるようにすること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	西洋近代の成立 科学技術思想の成立 カント哲学の成立と意義 功利主義思想の成立と意義 バラモン教の成立と意義 仏教思想の成立 仏教思想の展開 儒家思想の成立と意義 道家思想の成立と意義 応用倫理学入門 職業倫理入門(1) 職業倫理入門(2) 技術者倫理入門(1) 技術者倫理入門(2) まとめ 実施する		ルネサンスと宗教改革の思想的意義 ベーコンとデカルトの思想的意義 義務倫理学と道徳法則 最大多数の最大幸福、他者危害の原則 インドの歴史とウパニシャッドの思想 仏陀(釈迦)の生涯と思想 小乗仏教と大乘仏教の思想的意義 孔子・孟子・荀子の思想の意義 老子・荘子の思想の意義 生命倫理と環境倫理の成立と意義 職業倫理に関する諸定義 伝統を踏まえた現代の職業倫理 技術者倫理に関する諸定義 技術者倫理に関する日米の事例研究 倫理を身につけた技術者として生きる		
教科書	哲学・倫理学概論、松島隆裕他、学術図書出版社;哲学的思索への道、笠井貞他、文化書房博文社;精選資料新倫理、令文社				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を75%、課題等の総点を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
保健・体育 Health and Physical Education	1	2 (60)	必修	通年 週2時間 C	秋山 秀博 根本昌樹
授業概要	心身の総合的な発達を目指し、基礎的、基本的な運動技術を習得する。現代社会における健康について心身の機能を中心に理解し、自らの健康を保持増進できる能力と態度を養う。				
到達目標	①各種運動の実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を目指す。 ②公正、協力、責任等の態度を育てる。 ③生涯を通じて継続的に運動ができる能力を養う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4).				
履修上の注意	基礎的な体力・技術トレーニングの際、事故のないよう特に授業前日の健康管理に努めること。また、健康上の問題点については、担当教官に必ず事前に申し出ておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	柔道	柔道受講の心得(オリエンテーション)、柔道場と柔道衣			
第2週	柔道	姿勢・組み方・体捌き・体の移動・崩し・受身			
第3週	柔道	受け身・練習の五原則・固技基本動作			
第4週	柔道	受身・膝車・支釣込足			
第5週	柔道	受身・打込・大腰・送足払			
第6週	柔道	受身・打込・投込・大内刈・小内刈・体落・背負投			
第7週	柔道	受身・打込・投込・大外刈・内股・払腰・袈裟固・崩袈裟固			
第8週	柔道	受身・打込・投込・肩固・上四方固・横四方固・縦四方固			
第9週	柔道	受身・打込・投込・投技連絡変化・投技乱取・固技乱取			
第10週	柔道	受身・投技乱取・固技乱取・ルール(審判法)の理解			
第11週	柔道	日本伝講道館柔道の歴史と思想			
第12週	柔道	固技試合(体重別) I			
第13週	柔道、水泳	固技試合(体重別) II、水中運動の特徴・安全に関する心構え・各種泳法 I			
第14週	柔道、水泳	簡易試合・柔道とJUDO、各種泳法 II			
第15週	柔道、水泳	講道館柔道「投の形」「柔の形」、時間泳			
前期期末試験	実施しない				
後期 第16週	体力テスト	屋内種目			
第17週	体力テスト	屋外種目			
第18週	陸上	姿勢・スプリントドリル・加速走			
第19週	陸上	短距離走記録測定			
第20週	陸上	跳躍種目の踏み切り技術・助走練習			
第21週	陸上	短助走による記録測定(三段跳び・走り幅跳び)			
第22週	バレーボール	パス・トス・サーブ練習			
第23週	バレーボール	スパイク・レシーブ練習			
第24週	バレーボール	フォーメーション・パスゲーム			
第25週	バレーボール	リーグ戦			
第26週	保健	体のつくりと働き(体幹・体肢・筋肉系・骨格系)			
第27週	保健	体のつくりと働き(循環器系・呼吸器系)			
第28週	保健	トレーニングの方法			
第29週	保健	運動技能の構造と練習法			
第30週	保健	現代社会におけるスポーツの意義と生涯スポーツの楽しみ方			
後期期末試験	実施する				
教科書	新保健体育、加賀谷・高石他、大修館				
参考図書	Active Sports 総合版、大修館、新保健ノート、大修館				
評価方法	実技評価・レポート・定期試験を60%、活動記録・課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
美術 Fine Arts	1	1 (30)	選択	前期 週2時間 C	高杉 和久
授業概要	自分の手を動かして物事を判断する感性を養い、種々の対象物のデッサンの技術を学ぶ。				
到達目標	①美術の歴史を通して、人間の営みと自然のかかわり合いを考察できること。 ②社会人としての知性と教養を磨き工学技術者としての基礎となるデッサンの技術を身につけること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(E-2). (E-3). (E-4).				
履修上の注意	実技においては、自由な創造を第一義に考え、感性の解放をテーマに、楽しみながら創作する。 機械工学科と電気工学科は、前期に実施し、物質工学科と建設環境工学科は、後期に実施する。				
授業計画	授業項目			理解すべき内容	
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	美術についての初歩の心構え ルネサンス美術鑑賞 同上 教科書の勉強 同上 手のデッサン 立方体のデッサン 同上 ネジのデッサン 同上 車のデッサン 同上 未来の都市のデッサン 同上 学生の作品に対する総括的な講評 実施しない			平面と立体に関する描画方法等 同上 「手」をじっくり見ることにより観察力を養う。	
教科書	高校美術1、日本文教出版				
参考図書					
評価方法	平素の成績(作品・課題等)を100%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
線形代数 Linear Algebra	2	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	機・電・物・建 西浦 孝治 機・電・物・建:島袋修
授業概要	平面ベクトル、空間ベクトル、行列、行列式について学ぶ。				
到達目標	①基本的な極限計算ができる。 ②基本的な関数の微分ができる。 ③簡単な関数のグラフの概形がかける。 ④基本的な関数の積分ができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1).				
履修上の注意	予習・復習をかかささない。教科書の間・練習問題を必ず解き、自力でできなかった問題は解決しておくこと。				
授業計画	授業項目			理解すべき内容	
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験 後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	ベクトル 平面のベクトル ベクトル 平面のベクトル ベクトル 平面のベクトル ベクトル 平面のベクトル ベクトル 平面のベクトル ベクトル 平面のベクトル 前期中間試験 ベクトル 空間のベクトル ベクトル 空間のベクトル ベクトル 空間のベクトル ベクトル 空間のベクトル ベクトル 空間のベクトル ベクトル 空間のベクトル ベクトル 空間のベクトル 演習 実施する 行列 行列 行列 行列 行列 行列 後期中間試験 行列式 行列式 行列式 行列式 行列式 行列式 行列式 行列式 演習 実施する			ベクトル ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積 ベクトルの平行と垂直 ベクトルの図形への応用 空間座標 ベクトルの成分 内積 直線の方程式 平面の方程式 球の方程式 ベクトルの線形独立・線形従属 演習問題 行列の定義、行列の和・差、数との積 行列の積 転置行列 逆行列 消去法 逆行列と連立1次方程式 行列式の定義 行列式の性質 行列式の展開 行列の積の行列式 正則な行列の行列式 連立1次方程式と行列式 行列式の図形的意味 演習問題	
教科書	新訂 線形代数、斎藤 斉・高遠 節夫 ほか4名、大日本図書 新編 高専の数学2問題集、田代嘉宏、森北出版				
参考図書					
評価方法	定期試験を70%、課題や小テストを30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
微積分1 Differential and Integral Calculus 1	2	2 (60)	必修	前期 週4時間 A	機・物: 山野 和一 電: 山形弘道, 建: 新井 広
授業概要	微分積分の基本的な概念, 基本的な関数の微分積分, そしてそれらの応用について学習する。				
到達目標	①基本的な極限計算ができる。 ②基本的な関数の微分ができる。 ③簡単な関数のグラフの概形がかける。 ④基本的な関数の積分ができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1). JABEE基準1(1)との対応:(c).				
履修上の注意	教科書の例題と問題を自分で考え, 解くことで微分積分の概念を徐々に習得して欲しい。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	微分法, 関数の極限と導関数	関数の極限・関数の連続			
第2週	"	微分係数, 導関数			
第3週	"	導関数の公式, 合成関数の微分法			
第4週	微分法 色々な関数の導関数	三角関数の導関数			
第5週	"	逆三角関数, 対数関数, 指数関数の導関数			
第6週	微分法の応用	平均値の定理, 関数の増減と極値			
第7週	前期中間試験				
第8週	微分法の応用	関数の最大最小, 高次導関数			
第9週	微分法の応用, 関数の変動	曲線の凹凸			
第10週	微分法の応用, 色々な応用	媒介変数表示と微分法			
第11週	"	接線と法線			
第12週	"	不定形の極限值			
第13週	"	速度と加速度			
第14週	積分法 定積分と不定積分	定積分の定義, 定積分の性質			
第15週	練習問題				
前期期末試験	実施する				
教科書	新訂 微分積分 I 高遠 節夫・斎藤 斉 ほか4名 大日本図書				
参考図書	新編 高専の数学2問題集 田代嘉宏 森北出版				
評価方法	定期試験の成績70%, 小テストや課題の装填を30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
微積分2 Differential and Integral Calculus 2	2	2 (60)	必修	後期 週4時間 A	機・物: 山野 和一 電: 山形弘道, 建: 新井 広
授業概要	微分積分の基本的な概念, 基本的な関数の微分積分, そしてそれらの応用について学習する。				
到達目標	①置換積分・部分積分を利用する積分計算ができる。 ②積分を利用して簡単な図形の面積, 曲線の長さ, 立体の体積などが計算できる。 ③積分を利用して簡単な回転体の体積や表面積が計算できる。 ④広義積分や数値積分の簡単な計算ができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1). JABEE基準1(1)との対応:(c).				
履修上の注意	教科書の例題と問題を自分で考え, 解くことで微分積分の概念を徐々に習得して欲しい。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	積分法 定積分と不定積分 " " 積分法 積分の計算 " " 積分の応用 面積, 長さ, 体積 " " 後期中間試験 積分の応用 面積, 長さ, 体積 " " 色々な応用 " " " " " " " " " " 練習問題 実施する		定積分と不定積分の関係 定積分の計算, 不定積分の置換積分 定積分の置換積分法, 部分積分 分数関数, 無理関数, 三角関数の積分 図形の面積 曲線の長さ 立体の体積 回転体の表面積 媒介変数表示による図形 極座標による図形 変化率と積分 広義積分 数値積分		
教科書	新訂 微分積分 I 高遠 節夫・斎藤 斉 ほか4名 大日本図書				
参考図書	新編 高専の数学2問題集 田代嘉宏 森北出版				
評価方法	定期試験の成績70%, 小テストや課題の総点を30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
物理 Physics	2	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	物・建: 根本 信行 機・電: 道上 達広
授業概要	力学、熱力学、波動や現代物理学の基礎を学ぶ。				
到達目標	①物理学の基本的な概念や原理・原則を理解すること。 ②物理学的な考え方を習得すること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1), (B-4).				
履修上の注意	問題集の問題も自分で解けるように、教科書の予習・復習をきちんとすること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	円運動と万有引力(1)	等速円運動			
第2週	円運動と万有引力(2)	慣性力			
第3週	円運動と万有引力(3)	単振動			
第4週	円運動と万有引力(4)	万有引力、問題演習			
第5週	いろいろなエネルギー(1)	熱と温度			
第6週	いろいろなエネルギー(2)	熱と仕事			
第7週	前期中間試験				
第8週	いろいろなエネルギー(3)	電気とエネルギー、エネルギー変換と保存、問題演習			
第9週	熱と物質の状態(1)	物質の状態、気体の法則			
第10週	熱と物質の状態(2)	気体の分子運動			
第11週	熱と物質の状態(3)	気体の内部エネルギーと比熱、問題演習			
第12週	波の性質(1)	波の伝わり方と種類			
第13週	波の性質(2)	重ね合わせの原理と波の干渉			
第14週	波の性質(3)	波の反射・屈折・回折(1)			
第15週	波の性質(4)	波の反射・屈折・回折(2)、問題演習			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	音(1)	音の伝わり方			
第17週	音(2)	発音体の振動と共鳴・共振			
第18週	音(3)	ドップラー効果、問題演習			
第19週	光(1)	光の性質、光の進み方			
第20週	光(2)	レンズ			
第21週	光(3)	光の干渉と回折(1)			
第22週	後期中間試験				
第23週	光(4)	光の干渉と回折(2)、問題演習			
第24週	電気と磁気(1)	静電気力、電場、電位、問題演習			
第25週	電気と磁気(2)	磁場、ローレン力、電磁誘導、交流、問題演習			
第26週	原子(1)	電子			
第27週	原子(2)	光の粒子性、粒子の波動性			
第28週	原子(3)	原子の構造とエネルギー準位			
第29週	原子と原子核(1)	原子核、放射線とその性質			
第30週	原子と原子核(2)	核反応と核エネルギー			
後期期末試験	実施する				
教科書	高等学校 物理 I、II 数研出版,リードα 物理 I II 力学熱力学編チャート式シリーズ 新物理 I・II (ここまで1年次購入済み) リードα 物理 I II 波電磁気原子編(2年次購入)				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%、小テストや課題の総点を30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
化学 Chemistry	2	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	物: 天野 仁司 機、電: 押手茂克, 建: 羽切正英
授業概要	化学的な事物・現象について基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。				
到達目標	①イオン化傾向やファラデーの法則を理解し、現象の説明と計算ができる。 ②典型金属元素と遷移金属元素を理解し、それぞれの分類や性質を説明できる。 ③有機化合物の分類を理解し、各グループの性質が説明できる。 ④有機化合物の構造を理解し、各異性体の構造を書くことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (B-1).				
履修上の注意	物質の性質、製法、利用法について、身近な生活の例に照らし合わせて理解することが大切である。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 酸化還元反応 1 第2週 酸化還元反応 2 第3週 酸化還元反応 3 第4週 酸化還元反応 4 第5週 酸化還元反応 5 第6週 電池 1 第7週 前期中間試験 第8週 電池 2と演習 第9週 電気分解 1 第10週 電気分解 2 第11週 典型元素とその化合物 1 第12週 典型元素とその化合物 2 第13週 典型元素とその化合物 3 第14週 典型元素とその化合物と遷移元素 第15週 演習 前期末試験 実施する 後期 第16週 有機化合物の分類と分析 第17週 有機化合物の分析と脂肪族炭化水素 1 第18週 脂肪族炭化水素 2 第19週 脂肪族炭化水素 3 第20週 アルコールと関連化合物 1 第21週 アルコールと関連化合物 2 第22週 後期中間試験 第23週 アルコールと関連化合物 3 と演習 第24週 アルコールと関連化合物 4 第25週 アルコールと関連化合物 5 第26週 芳香族化合物 1 第27週 芳香族化合物 2 第28週 糖とアミノ酸 1 第29週 糖とアミノ酸 2 第30週 演習 後期末試験 実施する	酸化還元反応 1 酸化還元反応 2 酸化還元反応 3 酸化還元反応 4 酸化還元反応 5 電池 1 前期中間試験 電池 2と演習 電気分解 1 電気分解 2 典型元素とその化合物 1 典型元素とその化合物 2 典型元素とその化合物 3 典型元素とその化合物と遷移元素 演習 実施する 有機化合物の分類と分析 有機化合物の分析と脂肪族炭化水素 1 脂肪族炭化水素 2 脂肪族炭化水素 3 アルコールと関連化合物 1 アルコールと関連化合物 2 後期中間試験 アルコールと関連化合物 3 と演習 アルコールと関連化合物 4 アルコールと関連化合物 5 芳香族化合物 1 芳香族化合物 2 糖とアミノ酸 1 糖とアミノ酸 2 演習 実施する	酸化と還元 酸化数 酸化剤・還元剤 金属のイオン化傾向 金属のイオン化傾向、酸化還元の実験 電池の原理、ダニエル電池 鉛蓄電池、実用電池の例、第1週から7週の演習 水溶液の電気分解 ファラデーの法則、電気量 アルカリ金属元素、アルカリ金属元素の実験 アルカリ土類金属元素、亜鉛、アルミニウム 炭素、ケイ素、工業的合成法 ハロゲン元素と希ガス元素、遷移元素の特色 第9週から14週の復習 有機化合物の特徴と分類、分析 分析、アルカン、構造異性体 アルカン、構造異性体と立体異性体、シクロアルカン アルケン、シクロアルケン、アルキン、幾何異性体 アルコールとエーテル アルコールの性質の実験、第16週から21週の演習 アルデヒドとケトン 脂肪族カルボン酸と酸無水物 エステルと油脂 芳香族炭化水素、フェノール類 芳香族アミンと芳香族カルボン酸 単糖類と二糖類、糖とタンパク質の実験 アミノ酸 第23週から29週の演習			
教科書	化学Ⅰ、野村祐次郎他、数研出版； 化学Ⅱ、野村祐次郎他、数研出版； 問題集ニューグローバル 化学Ⅰ＋Ⅱ、東京書籍				
参考図書	ビジュアルワイド 図説化学 東京書籍				
評価方法	定期試験80%、実験レポート10%、小テスト及び課題10%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語A English A	2	3 (90)	必修	通年 週3時間 B	物・建 中山 悟視 機・電: 宮澤 泰彦
授業概要	単語、熟語、文法、構文、発話の知識をさらに高め、英文を正しく音読し、英文の内容を正しく読み取る力を養う。				
到達目標	①テキストに使用されている語彙・文法・構文が理解できる。 ②テキストが伝えようとする内容を理解できる。 ③習得した表現を用いて簡単な英語表現を行うことができる。 ④基本的な英語による音声活動を行うことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6).				
履修上の注意	辞書を使って予習し、英文の内容を自分なりにとらえてくること。また復習として、単語、熟語、構文の定着をはかるべく、テキストの音読に力を入れること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	Lesson 1 What Happened to Sparky?	Lesson 1 What Happened to Sparky? Lesson 2 Hold That Call! Lesson 2 Hold That Call! Lesson 3 Laughter-Everyone's Language Lesson 3 Laughter-Everyone's Language 前期中間試験 Lesson 4 Waste Not, Want Not Lesson 4 Waste Not, Want Not Lesson 4 Waste Not, Want Not Lesson 5 A Trip on the Trains-Siberian Lesson 5 A Trip on the Trains-Siberian Lesson 5 A Trip on the Trains-Siberian Lesson 6 The Negative Sides of Fast Food Lesson 6 The Negative Sides of Fast Food 前期末試験実施する 後期 第16週 Lesson 7 Advertising-Selling a Product 第17週 Lesson 7 Advertising-Selling a Product 第18週 Lesson 8 Long Walk to Forever 第19週 Lesson 8 Long Walk to Forever 第20週 Lesson 9 Human Communication 第21週 Lesson 9 Human Communication 第22週 後期中間試験 第23週 Lesson 10 Tourist Watching in Britain 第24週 Lesson 10 Tourist Watching in Britain 第25週 Lesson 10 Tourist Watching in Britain 第26週 Lesson 11 An Observation and an Explanation 第27週 Lesson 11 An Observation and an Explanation 第28週 Lesson 11 An Observation and an Explanation 第29週 Lesson 12 A Voice from Germany 第30週 Lesson 12 A Voice from Germany 後期末試験実施する	仮定法現在、過去完了の受身形	関係代名詞のas 過去完了進行形 否定形の不定詞、代名詞のまとめ 関係代名詞の非制限的用法 無生物主語、譲歩の表現 関係副詞whyの用法 if節のない仮定法過去 助動詞の過去形 関係副詞の非制限的用法 未来完了形 不定詞の副詞的用法 未来進行形、受身の不定詞 不定詞の意味上の主語 S+V+O+if[whether, what など] 節 部分否定、使役を表すget as if[though] + 仮定法 形容詞の特殊用法、省略 仮定法過去の特殊な形 さまざまな接続詞 仮定法過去完了 完了形の分詞構文 付帯状況を表すwith 前文を受ける関係代名詞 時制の一致 慣用的な倒置 注意すべき比較表現、注意すべき不定詞の用法 注意すべき分詞構文の用法	
第2週	Lesson 1 What Happened to Sparky?				
第3週	Lesson 2 Hold That Call!				
第4週	Lesson 2 Hold That Call!				
第5週	Lesson 3 Laughter-Everyone's Language				
第6週	Lesson 3 Laughter-Everyone's Language				
第7週	前期中間試験				
第8週	Lesson 4 Waste Not, Want Not				
第9週	Lesson 4 Waste Not, Want Not				
第10週	Lesson 4 Waste Not, Want Not				
第11週	Lesson 5 A Trip on the Trains-Siberian				
第12週	Lesson 5 A Trip on the Trains-Siberian				
第13週	Lesson 5 A Trip on the Trains-Siberian				
第14週	Lesson 6 The Negative Sides of Fast Food				
第15週	Lesson 6 The Negative Sides of Fast Food				
教科書	New Legend English II, 鈴木英一・Paul Snowden・江藤秀一, 開拓社 New Legend English II Workbook, 開拓社				
参考図書					
評価方法	定期試験を70%、小テスト、課題等を30%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語B English B	2	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	機・電・建: 鳥居 孝栄 物: 芳賀富士夫(石原万里)
授業概要	英語を正しく理解し、英語で自分の考えを表現できるように基礎的英文法の習得をめざす。				
到達目標	①関係詞の使い分けができる。 ②仮定法過去と仮定法過去完了の違いが理解できる。 ③各前置詞の意味を理解し、使い分けができる。 ④従属接続詞を用いた構文の意味が理解できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	テキストの基本例文を習得することに努力するとともに、練習問題を積極的に解くことによって、応用力を養うようにする。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 比較(III) 第2週 関係詞(I) 第3週 関係詞(II) 第4週 関係詞(III) 第5週 関係詞(IV) 第6週 関係詞(V) 第7週 前期中間試験 第8週 仮定法(I) 第9週 仮定法(II) 第10週 仮定法(III) 第11週 話法(I) 第12週 話法(II) 第13週 話法(III) 第14週 名詞(I) 第15週 問題演習 前期期末試験 実施する 後期 第16週 名詞(II) 第17週 代名詞(I) 第18週 代名詞(II) 第19週 冠詞(I) 第20週 冠詞(II) 第21週 前置詞(I) 第22週 後期中間試験 第23週 前置詞(II) 第24週 前置詞(III) 第25週 前置詞(IV) 第26週 接続詞(I) 第27週 接続詞(II) 第28週 接続詞(III) 第29週 接続詞(IV) 第30週 問題演習 後期期末試験 実施する		比較の慣用表現 関係代名詞の種類と格 前置詞+関係代名詞、関係代名詞の継続用法 関係代名詞 what 関係副詞 複合関係代名詞、複合関係副詞 仮定法過去、仮定法過去完了 未来の仮定 願望の表現、仮定法の慣用表現 平叙文の伝達 疑問文、命令文の伝達 重文の伝達 可算名詞、不可算名詞 前期の総復習 複数形、所有格 it の用法、不定代名詞 both, either, neither, some, any の用法 不定冠詞、定冠詞 無冠詞、冠詞の慣用句 場所を表す前置詞 時を表す前置詞 原因、結果、分離を表す前置詞 群前置詞、句動詞 等位接続詞 従属接続詞 従属接続詞を用いた構文の意味 従属接続詞を用いた構文の書き換え 後期の総復習			
教科書	A Stepping Stone to English Grammar、荒木一雄編、教研出版				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、小テスト20%、課題10%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
国語 Japanese	2	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	電・物・建: 高橋 宏宣 機: 中野弘子
授業概要	近代・現代の文章、古文、漢文を読み、文章の内容を正しく読み取る力を養う。				
到達目標	①近現代の優れた文章や古典作品に親しむ。 ②正確な語彙・文法の知識を身につける。 ③読解力を高め、作品を批評・鑑賞することができるようにする。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3),				
履修上の注意	授業で扱う作品を予め読み、不明なことばがあれば辞書で調べ、文意を自分なりに解釈して授業に臨むこと。				
授業計画	授業項目			理解すべき内容	
前期 第1週	現代文(小説)			「夢十夜」	
第2週	現代文(小説)			「夢十夜」	
第3週	古文(軍記)			「平家物語」	
第4週	古文(軍記)			「平家物語」	
第5週	古文(軍記)			「平家物語」	
第6週	現代文(評論)			「ものと記号」	
第7週	前期中間試験				
第8週	漢文(史話)			「臥薪嘗胆」	
第9週	漢文(史話)			「臥薪嘗胆」	
第10週	漢文(史話)			「鶏鳴狗盗」	
第11週	現代文(評論)			「美を求める心」	
第12週	現代文(評論)			「美を求める心」	
第13週	古文(歌物語)			「伊勢物語」	
第14週	古文(歌物語)			「伊勢物語」	
第15週	古文(歌物語)			「伊勢物語」	
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	現代文(随想)			「生物時間を生きる」	
第17週	現代文(随想)			「迷う犬」	
第18週	古文(説話)			「宇治拾遺物語」	
第19週	古文(説話)			「宇治拾遺物語」	
第20週	現代文(小説)			「城の崎にて」	
第21週	現代文(小説)			「城の崎にて」	
第22週	後期中間試験				
第23週	漢文(小話)			「先從隗始」	
第24週	漢文(小話)			「不死之薬」	
第25週	現代文(評論)			「ミロのヴィーナス」	
第26週	現代文(評論)			「ミロのヴィーナス」	
第27週	現代文(評論)			「自然へのまなざし」	
第28週	古文(随筆)			「枕草子」	
第29週	古文(随筆)			「枕草子」	
第30週	古文(随筆)			「枕草子」	
後期期末試験	実施する				
教科書	前期:『精選国語総合』、東京書籍 後期:『精選現代文』『精選古典』、東京書籍、『常用漢字の級別学習』、京都書房				
参考図書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典(各自で用意すること)				
評価方法	定期試験の成績を80%、小テストや課題の総点を20%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学概論A Invitation to Humanities and Social Science A	2	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	木原 淳
授業概要	江戸後期から第二次世界大戦後までの日本史を概観する。				
到達目標	現代日本や国際社会の動きを理解し、考える上で不可欠な、日本近代史に関わる基本的知識を習得する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5). JABEE基準I(1)との対応:(a).				
履修上の注意	指定された次回の授業範囲部分を下読みし、分からない語句を調べておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	江戸鎖国体制の動揺(1) 江戸鎖国体制の動揺(2) 新しい諸思想 開国 明治維新 中央集権の確立 殖産興業 対外関係の変容 文明開化 士族の反乱と民権運動 立憲体制の形成 日清戦争 日清戦争後の政治 日露戦争 日露戦争後の動き 実施する	外国船の来航 鎖国の維持 諸藩の改革 天保の改革 国学と洋学 社会批判の思想 ペリー来航 開国の影響 幕政の対立 討幕運動の展開 廃藩置県 近代的軍制 地租改正 官営工場 国立銀行 日清関係 岩倉使節団 明治啓蒙 学校教育の成立 西南戦争 国会開設への動き 憲法制定 法典編纂 条約改正問題 朝鮮問題 下関条約と三国干渉 台湾統治 日英同盟 戦争の経緯 韓国併合 満州進出			
教科書	日本史B(清水書院)				
参考図書	ビジュアルワイド図説日本史(東京書籍)、日本史Bノート				
評価方法	定期試験を75%、課題を25%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学概論B Invitation to Humanities and Social Science B	2	1 (30)	必修	後期 週2時間 B	木原 淳
授業概要	日露戦争後の社会から第二次大戦後の占領期までを日本近代史を概観する。				
到達目標	現代日本の社会と政治・経済を形成する基本的な経緯と知識を習得する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (A-3), (A-4), (A-5). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	指定された次回の授業範囲部分を下読みし、分からない語句を調べておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	近代産業の発展 社会主義運動 大正政変 第一次大戦 大戦後の世界 大戦景気と恐慌 政党政治の発展 大正デモクラシー 昭和初期の外交 全体主義の時代 日中戦争 第二次大戦 占領体制下の政治 日本の再独立 大戦と科学技術の発達 実施する	産業革命の進展 財閥と地主 「社会問題」の発生 労働運動 桂園時代 大正政変 日本の参戦と権益の拡大 シベリア出兵 ベルサイユ条約 民族運動 ワシントン体制 対戦景気 米騒動 戦後恐慌 原敬内閣 普通選挙法と治安維持法 立憲主義 社会運動 社会主義運動 幣原外交 強硬外交 世界恐慌 軍部の台頭 満州事変 国家総動員体制 日米交渉 ポツダム宣言 憲法改正 経済の民主化 冷戦の激化 講和条約 真理と倫理のディレンマ 技術者倫理の萌芽			
教科書	日本史B(清水書院)				
参考図書	ビジュアルワイド図説日本史(東京書籍)、日本史Bノート)				
評価方法	定期試験を75%、課題を25%として評価する。。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
社会科学調査法 Social Science Reserch Methods	2	1 (30)	必修	後期 週2時間 B	川崎 俊郎
授業概要	社会科学分野を中心にレポート・論文作成に必要な資料検索・加工・分析の考え方と技能を学習する。あわせてレポート・論文作成時に最低限守るべきルールも学習する。				
到達目標	①社会科学分野を中心に、レポートや論文作成に必要な資料の検索と収集することができる。 ②検索・収集した資料を目的に応じて加工・分析が行える。 ③レポート・論文作成にあたって最低限守るべきルールを理解した上で実行できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-3). (A-4). (D-2). (D-3). (F-2). (F-3).				
履修上の注意	各種の資料と調査方法は、それぞれの目的に応じて作られていることを理解しておくこと。また課題は期限を厳守し、様式などを指示通りに提出すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	社会科学調査法の概要 社会科学分野の資料と調査法 文献資料を利用した調査1 文献資料を利用した調査2 文献資料を利用した調査3 統計資料を利用した調査1 統計資料を利用した調査2 統計資料を利用した調査3 地図資料を利用した調査1 地図資料を利用した調査2 地図資料を利用した調査3 地図資料を利用した調査4 そのほかの資料の利用方法 調査とレポート作成時のルール 総合演習 実施する	レポート・論文の概要、調査を行う理由 資料の種類と分類、調査法の種類 文献検索・収集、一般書、辞典類を利用した調査 新聞・雑誌の記事を利用した調査法とその限界点 学術雑誌の種類と特徴、学術雑誌を利用した調査 統計の種類と特徴、利用する場合の注意点 表の作成を中心とした統計資料の加工と分析 グラフの作成を中心とした統計資料の加工と分析 地図の種類と特徴、利用する場合の注意点 地形図の読図①(地形・土地利用など) 地形図の読図②(分布・立地など) 主題図の利用と作成方法 写真等の映像資料、インタビュー資料、野外調査ほか 資料入手、引用、分析などに関するルール 授業全体の総復習とまとめ			
教科書					
参考図書					
評価方法	期末試験75%、レポートや課題の成績を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
保健・体育 Health and Physical Education	2	2 (60)	必修	前期・後期 週2時間 C	根本 昌樹 秋山秀博
授業概要	心身の総合的な発達を目指し、基礎的、基本的な運動技術を習得する。現代社会における健康について心身の機能を中心に理解し、自らの健康を保持増進できる能力と態度を養う。				
到達目標	①各種運動の実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を目指す。 ②公正、協力、責任等の態度を育てる。 ③生涯を通じて継続的に運動ができる能力を養う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4).				
履修上の注意	基礎的な技術・体力トレーニングの際、事故のないように、とくに授業前日の健康管理に努めること。また健康上の問題点については、担当教官に必ず事前に申し出ておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	陸上	短距離の技術			
第2週	陸上	ハードル走			
第3週	陸上	跳躍技術			
第4週	陸上	混成競技			
第5週	陸上	混成競技			
第6週	バスケットボール	パス・キャッチ			
第7週	バスケットボール	ドリブルシュート			
第8週	バスケットボール	パスゲーム			
第9週	バスケットボール	パスゲーム			
第10週	バスケットボール	ゲーム			
第11週	サッカー	キック各種			
第12週	サッカー	ドリブル・ヘディング・シュート			
第13週	水泳	水中運動の特性			
第14週	水泳	各種泳法			
第15週	水泳	時間泳・距離泳			
前期期末試験	実施しない				
後期 第16週	体力テスト	屋内種目			
第17週	体力テスト	屋内種目			
第18週	サッカー	キック各種、リフティング			
第19週	サッカー	ドリブル、ヘディング、シュート			
第20週	サッカー	パス&コントロール、簡易ゲーム			
第21週	サッカー	ゲーム			
第22週	サッカー	ゲーム			
第23週	バスケットボール	ゲーム			
第24週	バスケットボール	ゲーム			
第25週	バスケットボール	ゲーム			
第26週	保健	わが国の健康水準と病気の傾向			
第27週	保健	健康のとらえ方と適切な意思決定・行動選択			
第28週	保健	ヘルスプロモーションと健康21			
第29週	保健	日常の生活行動と生活習慣病			
第30週	保健	喫煙・飲酒・薬物乱用と健康			
後期期末試験	実施する				
教科書	新保健体育、加賀谷・高石他、大修館;新保健ノート、大修館				
参考図書	Active Sports 総合版、大修館				
評価方法	実技評価、レポート、定期試験を60%、活動記録、課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
ミニ研究 Research Practice	2	1 (30)	必修	前期 週2時間 C	全教員 (ただし専攻科特別研究 担当者を除く)
授業概要	担当教員から出された課題研究テーマを1年次の後半にとりまとめ、学生に提示する。学生は希望するテーマを選択し、2年前期に担当教員の指導のもとでミニ研究を行い、前期末にミニ研究発表会において成果を報告する。				
到達目標	課題研究を通して、低学年のうちに「自分で調べる・考える・文章にまとめる・報告する・人前で発表する」という基礎的能力を養い、高学年での学習に必要な資質を身につける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(E-1).(E-2)				
履修上の注意	受動的な学習態度ではなく、積極的かつ自発的に研究に取り組む事が望まれる。				
授業計画	<p>学生は担当教員の指導のもと、下記のようなテーマについて研究を進める。平成18年度の課題テーマ(テーマ総数45)をいくつか以下に列挙する。</p> <p style="text-align: center;">テーマ例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦前における柔道技の変遷 ・コンクリートの強さの秘密を探る ・知能ロボットの制作による、機械及び制御技術の探求 ・数学を活用しよう ・ルービック・キューブで遊ぼう ・テニスのストリングの張力とボールの跳び方の関係について ・オーディオ機器の自作に挑戦 ・天体写真を撮ろう - 昼間に見える星を見よう ・和本・洋本を作ってみよう ・将棋等の知能ゲームプログラムの歴史 ・オノマトペ分析 --- マンガに見られるオノマトペ(音喩・形喩)分析 ・岡倉天心を通して日本の伝統文化とその歴史を考える ・国際会議に参加したつもりでコンピュータを英語で説明しよう ・TeXによる数式を含む文書の作成 ・戦史を研究する ・いわき学をつくる・・・いわきについてあれこれ考え、調べてみよう ・教わってないのにどうしてわかるの? --- 文法知識のなぞ ・ステレオグラムで3Dアートを作ろう ・生物の不思議-おもしろい実験・観察でたしかめる ・小中学校の授業支援 ・英語の話し言葉の研究(語用論入門)からダイアログ制作へ ・身近な地域をリモートセンシング技術で調べる ・地図化してみる日本と世界 ・インドについて調べる ・地球温暖化対策について ・福島県生まれの文学者を調べる ・観測する技術〜リモートセンシングの世界〜 ・社会の仕組みについて考える ・英語と日本語の違いを捜そう ・数学の歴史 ・ハーブの秘密を探る ・強い橋構造を創ろう ・暗渠をつくる ・新聞を読む 				
教科書	各テーマについて指導教員より指示がある。				
参考図書	各テーマについて指導教員より指示がある。				
評価方法	指導教員点(80%)、チーム発表点(20%)として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
微積分A Differential and Integral Calculus A	3	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	物・建 西浦 孝治 機・電: 亀井 宣男
授業概要	2重積分、ベクトル解析、複素関数について学習する。				
到達目標	(1) 2重積分について理解し、計算に習熟する。 (2) ベクトル関数、スカラー場とベクトル場について理解し、計算に習熟する。 (3) 線積分・面積分について理解し、計算に習熟する。 (4) 正則関数、複素積分について理解し、計算に習熟する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1).				
履修上の注意	2学年の微積分の知識を必要とする。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	2重積分		2重積分の定義		
第2週	2重積分		2重積分の計算		
第3週	2重積分		座標軸の回転		
第4週	変数の変換と重積分		極座標による2重積分		
第5週	変数の変換と重積分		変数変換、広義積分		
第6週	変数の変換と重積分		2重積分のいろいろな応用		
第7週	前期中間試験				
第8週	ベクトル関数		空間のベクトル		
第9週	ベクトル関数		外積		
第10週	ベクトル関数		ベクトル関数		
第11週	ベクトル関数		曲線		
第12週	ベクトル関数		曲面		
第13週	スカラー場とベクトル場		勾配		
第14週	スカラー場とベクトル場		発散と回転		
第15週	演習		問題演習		
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	線積分・面積分		線積分		
第17週	線積分・面積分		グリーンの定理		
第18週	線積分・面積分		面積分		
第19週	線積分・面積分		発散定理		
第20週	線積分・面積分		ストークスの定理		
第21週	線積分・面積分		問題演習		
第22週	後期中間試験				
第23週	正則関数		複素数		
第24週	正則関数		極形式		
第25週	正則関数		複素関数		
第26週	正則関数		正則関数		
第27週	正則関数		正則関数による写像		
第28週	正則関数		逆関数		
第29週	積分		複素積分		
第30週	演習		問題演習		
後期期末試験	実施する				
教科書	新訂 微分積分Ⅱ、高遠 節夫・斎藤 斉ほか4名、大日本図書 新訂 応用数学、高遠 節夫・斎藤 斉ほか4名、大日本図書 高専の数学3問題集、田代嘉宏、森北出版				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、課題30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
微積分B Differential and Integral Calculus B	3	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	建: 新井 広 機・物: 井川 治 電: 山野和一
授業概要	偏微分・級数・微分方程式について学ぶ。				
到達目標	①2変数関数と偏微分の考え方を理解し、計算に習熟する。また関数の多項式近似を理解し計算に習熟する。 ②基本的な関数のテイラー展開とマクローリン展開ができる。また高次導関数について理解し計算に習熟する。 ③簡単な条件付極値問題を解くことができる。包絡線を求めることができる。変数分離形・同次形の微分方程式を解くことができる。 ④2階までの線形の微分方程式を解くことができ、既習のものに帰着できる基本的な微分方程式も解くことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1). (B-2).				
履修上の注意	微分と積分の計算法に習熟しておくこと。また、単に形式的解法に終わることなく、基本概念や解法についての理解を深めるよう努めること。教科書の補章も随時学習する。完全微分方程式など教科書にないが従来取り扱われていた重要事項なども授業時間の余裕があれば学習する。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	偏微分	2変数関数			
第2週	〃	偏導関数			
第3週	〃	接平面			
第4週	〃	合成関数の微分法			
第5週	関数の展開	多項式による近似			
第6週	問題演習				
第7週	前期中間試験				
第8週	関数の展開	数列の極限			
第9週	〃	級数			
第10週	〃	べき級数とマクローリン展開、オイラーの公式			
第11週	偏微分の応用	高次偏導関数			
第12週	〃	多項式による近似			
第13週	〃	極大・極小			
第14週	〃	陰関数の微分法			
第15週	問題演習				
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	偏微分の応用	条件付極値問題			
第17週	〃	包絡線			
第18週	微分方程式	微分方程式の意味と解			
第19週	1階微分方程式	変数分離形			
第20週	〃	同次形			
第21週	問題演習				
第22週	後期中間試験				
第23週	1階微分方程式	1階線形微分方程式			
第24週	2階線形微分方程式	線形微分方程式			
第25週	〃	定数係数斉次線形微分方程式			
第26週	〃	定数係数非斉次線形微分方程式			
第27週	〃	いろいろな線形微分方程式			
第28週	〃	線形でない2階微分方程式			
第29週	演習または発展	問題演習または完全微分方程式など			
第30週	演習または発展	問題演習または完全微分方程式など			
後期期末試験	実施する				
教科書	新訂 微積分Ⅱ、高遠 節夫・斎藤 斉ほか4名、大日本図書； 新編 高専の数学3 問題集、田代嘉宏、森北出版				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、課題・小テスト等30%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語A English A	3	4 (120)	必修	通年 週4時間 B	物・建: 坂内 昌徳 機・電: 鳥居 孝栄
授業概要	テキストの講読とテキストを使った様々な言語活動、LL教室におけるTOEICテスト対策トレーニングを平行して行う。				
到達目標	①TOEICの出題形式に慣れることにより各自が得点力を向上させることができる。 ②テキストに使用されている語彙や構文が理解できる。 ③テキストが伝えようとする内容を理解できる。 ④テキストに使用されている表現を用いながら一定の意思の疎通を図ることができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	テキストの英文の意味を理解した上で、繰り返し音読して英文をそのまま頭に入れるように努力してほしい。復習として、練習問題などを行って語彙、構文等の定着をはかってほしい。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	Lesson 1, TOEIC模擬テスト1		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第2週	Lesson 1, TOEIC Listening & Reading 1-2		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第3週	Lesson 1, TOEIC Listening & Reading 3		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第4週	Lesson 2, TOEIC模擬テスト2		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第5週	Lesson 2, TOEIC Listening & Reading 4-5		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第6週	Lesson 2, TOEIC Listening & Reading 6		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第7週	前期中間試験, TOEIC模擬テスト3		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第8週	Lesson 3, TOEIC Listening & Reading 7-8		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第9週	Lesson 3, TOEIC Listening & Reading 9		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第10週	Lesson 3, TOEIC 模擬テスト4		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第11週	Lesson 4, TOEIC Listening & Reading 10		宣言文の展開, 語彙とその用法・表現		
第12週	Lesson 4, TOEIC 模擬テスト5		宣言文の展開, 語彙とその用法・表現		
第13週	Lesson 4, TOEIC 試験		宣言文の展開, 語彙とその用法・表現		
第14週	Lesson 5, TOEIC 復習(1)		新聞記事の展開, 語彙とその用法・表現		
第15週	Lesson 5, TOEIC 問題練習		新聞記事の展開, 語彙とその用法・表現		
前期末試験	実施する				
後期 第16週	Lesson 5, TOEIC 模擬テスト6		新聞記事の展開, 語彙とその用法・表現		
第17週	Lesson 6, TOEIC Listening & Reading 11-12		講演・物語文の展開, 語彙とその用法・表現		
第18週	Lesson 6, TOEIC Listening & Reading 13		講演・物語文の展開, 語彙とその用法・表現		
第19週	Lesson 6, TOEIC 模擬テスト7		講演・物語文の展開, 語彙とその用法・表現		
第20週	Lesson 7, TOEIC Listening & Reading 14-15		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第21週	Lesson 7, TOEIC Listening & Reading 16		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第22週	後期中間試験, TOEIC 模擬テスト8		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第23週	Lesson 7, TOEIC Listening & Reading 17-18		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第24週	Lesson 8, TOEIC Listening & Reading 19		紀行文の展開, 語彙とその用法・表現		
第25週	Lesson 8, TOEIC 模擬テスト9		紀行文の展開, 語彙とその用法・表現		
第26週	Lesson 8, TOEIC Listening & Reading 20		紀行文の展開, 語彙とその用法・表現		
第27週	Lesson 9, TOEIC 模擬テスト10		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第28週	Lesson 9, TOEIC 試験		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第29週	Lesson 9, TOEIC 復習(2)		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第30週	Lesson 9, TOEIC 問題練習		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
後期末試験	実施する				
教科書	CROWN ENGLISH READING 霜崎 實 著、三省堂				
参考図書					
評価方法	定期試験50%、TOEIC-IPテスト30%、小テスト15%、課題5%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
国語 Japanese	3	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	機・電: 高橋 宏宣 物・建: 高野 克宏
授業概要	近代・現代の文章、古文、漢文を読み、文章の内容を正しく読み取る力を養う。また、その文章が書かれた時代状況や文化的背景も概観する。				
到達目標	①現代文においては、作品のテーマや作者の主張を理解できるようにする。 ②古文・漢文においては、正確な語彙・文法の知識を身につける。 ③作品を批評・鑑賞する能力を高める。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3).				
履修上の注意	1・2年で身につけた基礎的読解力を更に高めるために、自ら進んで読書する機会を増やすこと。また、機会あるごとに文章を書くように心がけ、表現力を身につけること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	現代文: 評論2	「ハイテク化と人間のゆくえ」			
第2週	現代文: 評論2	「ハイテク化と人間のゆくえ」			
第3週	現代文: 評論2	「ハイテク化と人間のゆくえ」			
第4週	古文: 随筆1	「すさまじきもの」(『枕草子』)			
第5週	古文: 随筆1	「すさまじきもの」(『枕草子』)			
第6週	古文: 随筆1	「家居のつきづきしく」(『徒然草』)			
第7週	前期中間試験				
第8週	古文: 随筆1	「家居のつきづきしく」(『徒然草』)			
第9週	現代文: 小説2	「山月記」			
第10週	現代文: 小説2	「山月記」			
第11週	現代文: 小説2	「山月記」			
第12週	現代文: 小説2	「山月記」			
第13週	漢文: 史記1	「鴻門之会」			
第14週	漢文: 史記1	「鴻門之会」			
第15週	漢文: 史記1	「鴻門之会」			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	現代文: 評論3	「「である」と「すること」			
第17週	現代文: 評論3	「「である」と「すること」			
第18週	現代文: 評論3	「「である」と「すること」			
第19週	現代文: 評論3	「「である」と「すること」			
第20週	古文: 軍記	「忠度の都落ち」(『平家物語』)			
第21週	古文: 軍記	「忠度の都落ち」(『平家物語』)			
第22週	後期中間試験				
第23週	古文: 軍記	「忠度の都落ち」(『平家物語』)			
第24週	古文: 軍記	「忠度の都落ち」(『平家物語』)			
第25週	現代文: 小説3	「こころ」			
第26週	現代文: 小説3	「こころ」			
第27週	現代文: 小説3	「こころ」			
第28週	現代文: 小説3	「こころ」			
第29週	漢文: 思想1	「人間論」			
第30週	漢文: 思想1	「人間論」			
後期期末試験	実施する				
教科書	『精選現代文』『精選古典』、東京書籍; 『国語必携パーフェクト演習』、尚文出版				
参考図書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典(各自で用意すること)				
評価方法	定期試験の成績を80%、小テストや課題の総点を20%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
地理 Geography	3	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	吉村 忠晴
授業概要	地表上でみられる人文・社会事象の理解に必要となる地理的な見方・考え方(perspective)と地理的技能(skill)の基礎を学習する。				
到達目標	①地理情報を入手・分析し、その結果を統計地図・統計グラフに表現することができる。 ②空間的分布・空間的相互作用・立地・空間的拡散の理論を理解し、演習問題を解くことができる。 ③自ら仮説を設定し、それを実証することによって、地理的事象を規定する要因を解明できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (D-3). (D-4). (D-5). (F-1). (F-2). (F-3).				
履修上の注意	学際的な地理的事象を理解するために、広範な視野、多様かつ論理的な思考をもつとともに、常に最新の動向に注視すること。課題は指定された様式に則って期限厳守で提出すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	人文地理学の課題	地理的な見方・考え方、地理的技能、地理学の対象			
第2週	人文地理学の基礎概念	地域概念(等質地域と結節地域)、空間的規則性と地域性			
第3週	地理情報の利用(1)	地域調査のプロセス、文献・統計・地図の入手方法			
第4週	地理情報の利用(2)	統計数値の加工			
第5週	地理情報の利用(3)	統計グラフの種類、統計グラフの作成方法と読解			
第6週	地理情報の利用(4)	地図の役割、地図の種類			
第7週	地理情報の利用(5)	地形図の読図(自然条件)			
第8週	地理情報の利用(6)	地形図の読図(土地利用)			
第9週	地理情報の利用(7)	地形図の読図(施設立地)			
第10週	地理情報の利用(8)	統計地図の種類			
第11週	地理情報の利用(9)	統計地図の作成方法と読解			
第12週	新しい地理情報技術	リモート・センシング、地理情報システム(GIS)、GPS			
第13週	空間的分布(1)	分布パターンの判別			
第14週	空間的分布(2)	分布図の比較			
第15週	総合演習(1)	前期の総復習			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	空間的分布(3)	地理的プロファイリング、犯罪発生地図			
第17週	空間的相互作用(1)	重力モデル、都市システムの形成			
第18週	空間的相互作用(2)	ネットワークの構成要素、ネットワークのデザイン			
第19週	空間的相互作用(3)	距離概念、近接性の測定			
第20週	空間的相互作用(4)	最短経路問題、最小建設費問題、シュタイナー問題			
第21週	空間的相互作用(5)	輸送計画法			
第22週	立地(1)	立地因子と立地条件、ホテリングの立地モデル			
第23週	立地(2)	小売商業施設の立地、圏域の決定			
第24週	立地(3)	公共施設の立地(メディアン問題、センター問題、カバー問題)			
第25週	立地(4)	ウェーバーの工業立地論、立地型による工業の分類			
第26週	立地(5)	工業地域の形成、集積の経済、産業の空洞化現象			
第27週	空間的拡散(1)	距離減衰的拡散、階層的拡散、ロジスティック曲線			
第28週	空間的拡散(2)	方言圏論、疾病の伝播			
第29週	空間的拡散(3)	イノベーションの拡散			
第30週	総合演習(2)	1年間の総復習			
後期期末試験	実施する				
教科書	高等学校 新地理A最新版、高橋 彰ほか、帝国書院 新高等地図、山下脩二ほか、東京書籍 データでみる県勢2006年版、(財)矢野恒太記念会				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を75%、レポート・課題・小テストの成績を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
保健・体育 Health and Physical Education	3	2 (60)	必修	通年 週2時間 C	橋本 彰夫
授業概要	心身の総合的な発達を目指し、基礎的・基本的な運動技術を習得する。				
到達目標	①各種運動の実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を目指す。 ②公正、協力、責任等の態度を育てる。 ③生涯を通じて継続的に運動ができる能力を養う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4).				
履修上の注意	基礎的な技術・体力トレーニングの際、事故のないよう、とくに授業前日の健康管理につとめること。また、健康上の問題については、担当教官に必ず事前にも申し出ておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	テニス	マナー、グリップ、構え方			
第2週	テニス	ストローク(フォア、バック)			
第3週	テニス	ボレー(フォア、バック)			
第4週	テニス	サービス、スマッシュ、ロブ			
第5週	テニス	ルール理解と簡易ゲーム			
第6週	テニス	ゲーム			
第7週	卓球	グリップと構え方、フォアハンド系			
第8週	卓球	バックハンド系、カット系			
第9週	卓球	サービス、サービスレシーブ、フットワーク			
第10週	卓球	ドライブ、ショート、スマッシュ			
第11週	水泳	水中運動の特徴			
第12週	水泳	クロール、平泳ぎ			
第13週	水泳	長距離泳、時間泳			
第14週	体力テスト	室内種目			
第15週	体力テスト	室内種目			
前期末試験	実施しない				
後期 第16週	テニス	ゲーム			
第17週	テニス	ゲーム			
第18週	卓球	ゲーム			
第19週	卓球	ゲーム			
第20週	卓球	ゲーム			
第21週	卓球	ゲーム			
第22週	卓球	ゲーム			
第23週	バドミントン	グリップと構え方			
第24週	バドミントン	各種ストローク(フォア、バック)			
第25週	バドミントン	(リア、フロント)コートからの各種ショット			
第26週	バドミントン	サービスと簡易ゲーム			
第27週	バドミントン	ルール理解			
第28週	バドミントン	ゲーム			
第29週	バドミントン	ゲーム			
第30週	バドミントン	ゲーム			
後期末試験	実施しない				
教科書					
参考図書	Active Sports 総合版、大修館				
評価方法	実技評価、レポートを60%、活動記録、課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語 English	4	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	機・電・建: 宮沢 泰彦 物: 中山悟視
授業概要	様々な職業人へのインタビューを通して、自然な速度で話される英語を聴き取る力と英語によるコミュニケーションの基礎力を養う。CALL教材を用いてTOEICに即応した聴解力と読解力を養う。				
到達目標	①自然な速度で話される英語の音声特徴に慣れ、概要が聴き取れる。 ②場面に応じて類推力を働かせ、概要を理解できる。 ③TOEICの出題形式に慣れ、基本的な問題には時間内に対応することができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6). JABEE基準1(1)との対応:(f).				
履修上の注意	事前に予習をし各課の文字情報はすべて把握した上で授業に臨み、授業では音声に集中すること。普段から各種メディアを利用して生の英語音声に少しでも多く接する努力を積むこと。放課後はLL教室でTOEICの模擬問題に挑戦し、正解を暗記してしまうくらいになるまで繰り返すこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	Unit 1 / TOEIC演習	Getting to Know an American Student			
第2週	Unit 1 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第3週	Unit 2 / TOEIC演習	Graduation and Then What?, 重要語句の習得			
第4週	Unit 2 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第5週	Unit 3 / TOEIC演習	Communication Is What It's All About, 重要語句の習得			
第6週	Unit 3 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第7週	前期中間試験				
第8週	Unit 4 / TOEIC演習	Studying in the USA: Japanese Perspective, 重要語句の習得			
第9週	Unit 4 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第10週	Unit 5 / TOEIC演習	The Grandest Hotel in La Jolla, 重要語句の習得			
第11週	Unit 5 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第12週	Unit 6 / TOEIC演習	The Internet: Challenging the Way People Travel, 重要語句の習得			
第13週	Unit 6 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第14週	TOEIC演習	前期の復習			
第15週	TOEIC演習	TOEIC中間テスト			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	Unit 7 / TOEIC演習	Challenges and Rewards of Working Moms, 重要語句の習得			
第17週	Unit 7 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第18週	Unit 8 / TOEIC演習	What Do People Know about You?, 重要語句の習得			
第19週	Unit 8 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第20週	Unit 9 / TOEIC演習	A Doctor's Tips for Travelers, 重要語句の習得			
第21週	Unit 9 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第22週	後期中間試験				
第23週	Unit 10 / TOEIC演習	Research: 99% Perspiration; 1% Inspiration, 重要語句の習得			
第24週	Unit 10 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第25週	Unit 11 / TOEIC演習	Being a Golf Pro Is More than Playing Golf, 重要語句の習得			
第26週	Unit 11 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第27週	Unit 12 / TOEIC演習	Keeping Your Jaguar Purring, 重要語句の習得			
第28週	Unit 12 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第29週	TOEIC演習	後期の復習			
第30週	TOEIC演習	TOEIC期末テスト			
後期期末試験	実施する				
教科書	Talk of the Town、大八木廣人ほか、Macmillan Language House				
参考図書	速読英単語・必修編、風早 寛、増進会出版社 (すでに持っているもの)				
評価方法	定期試験を50%、TOEICの成績を30%、小テスト・課題等を20%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学(現代) Japanese Literature	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 A	高橋 宏宣
授業概要	太宰治の生涯、太宰治の生きた時代状況を概説する。その後、作品解釈の方法を講じ、テキストに収められた作品を解釈する。				
到達目標	①作品を繰り返し読むことによって、作品に繰り返し表れるパターン、逆に取られて書かれていない空白部分といった、作品の内的機構を把握できるようにする。 ②①で把握した内容を、論理的に記述できるようにする。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3). JABEE基準I(1)との対応:(a).				
履修上の注意	テキスト所収以外の太宰治作品も読んでみる。気に入った作品は何度も繰り返し読むことが望ましい。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	太宰治概説(1) 太宰治概説(2) 太宰治概説(3) 作品解釈の方法 「走れメロス」 「走れメロス」 後期中間試験 「願込み訴え」 「願込み訴え」 「願込み訴え」 「富嶽百景」 「富嶽百景」 「富嶽百景」 「東京八景」 「東京八景」 実施する	人とその作品 太宰治の生涯 太宰治と時代状況 文芸理論の基礎 作中人物の造形とその配置 メロスはなぜ勇者となりえたのか 作中人物の造形とその配置 語りの方 作品解釈と関連する諸問題 「富士」の形象化について 「富士」と「私」の対比 「俗」なものから「聖」なるものへ 私小説的方法について 作家太宰治と作中の「私」			
教科書	『走れメロス』、太宰治、新潮文庫				
参考図書	『太宰治全集』、筑摩書房				
評価方法	定期試験の成績100%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学(古典) Japanese Literature	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 A	蛭田 徹
授業概要	『伊勢物語』の講読・解釈を通して、「色好み」の世界に生きる主人公「昔男」のひたむきな愛情の数々と優雅で洗練されたくみやびを理解する。				
到達目標	それぞれの章段の人物の心理と行動とが、本文叙述とその集約としての和歌とによって、豊かに表現されていることを理解し、併せて「歌物語」の特質と和歌の役割を理解する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	記紀歌謡から現代短歌まで受け継がれている和歌は、平安時代の貴族の間では社交上欠かせない教養のひとつであったことを理解する。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	平安時代の文学について(1) 平安時代の文学について(2) 『伊勢物語』本文講読1 『伊勢物語』本文講読2 『伊勢物語』本文講読3 『伊勢物語』本文講読4 後期中間試験 『伊勢物語』本文講読5 『伊勢物語』本文講読6 『伊勢物語』本文講読7 『伊勢物語』本文講読8 『伊勢物語』本文講読9 『伊勢物語』本文講読10 『伊勢物語』本文講読11 『伊勢物語』本文講読12 実施する		物語の系譜を中心に 物語の系譜を中心に 一、二段 三、四、五段 十、十二、十三段 十六、十八段 二十一段 二十四段 四十五段 六十五段(1) 六十五段(2) 八十二段(1) 八十二段(2) 百七段、百二十五段		
教科書	岩波文庫『伊勢物語』大津有一枝注、岩波書店				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績100%				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学(古典) Japanese Literature	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 A	中野 弘子
授業概要	近世の浮世草子として比類ない、井原西鶴の文学を通し、ままたらぬ浮世に生きた人間像を読みとる。				
到達目標	実話を題材に描かれた西鶴の『好色五人女』を読み、恋愛を生命と考えた五人女の官能的な情念を読みとる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	西鶴の文体に馴れ親しむためにも音読を大切にす。また、江戸時代特有の言葉を辞書などで調べ、考察する。 (例:大節季、虫出しの神鳴、駒引銭など。)				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	導入、西鶴と浮世草子 巻の1、お夏清十郎 巻の1、お夏清十郎 巻の2、樽屋おせん 巻の2、樽屋おせん 巻の3、暦屋おせん 後期中間試験 巻の3、暦屋おせん 巻の4、八百屋お七 巻の4、八百屋お七 巻の4、八百屋お七 巻の4、八百屋お七 巻の5、お万源五兵衛 巻の5、お万源五兵衛 巻の5、お万源五兵衛 実施する		西鶴像と時代背景の考察 恋は闇夜を昼の国… 命のうちの七百両のかね 恋に涙輪の井戸替え… 木屑の杉ようじ一寸先の命 姿の関守… 身の上の立ち聞 大節季はおもい關… ふんどしかきたる君様… 雪の花の情け宿… 様子あつてのにわか坊主 連吹きの笛竹息の哀れや… 衆道は両手に散る花… 金銀も持ち余って迷惑。		
教科書	角川文庫ソフィア 暉峻康隆訳注『好色五人女』				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績100%				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学(現代) Japanese Literature	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 A	大森 房子
授業概要	さまざまな文体の現代文を読み、論理的な思考力と言語感覚を身につける。				
到達目標	読解力の基本となる日本語の表現、熟語、漢字読み・書き方の訓練を行う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-1), (F-2). JABEE基準1(i)との対応:(f).				
履修上の注意	就職試験、SPI言語分野に出題される長文読解に対応できる実践的な力を養成する。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	SPI・就職対応「長文読解」「対義語・類義語」 SPI・就職対応「長文読解」「対義語・類義語」 「長文の整序問題」「二字・三字熟語の読み方」 「長文の整序問題」「慣用句・ことわざ」 SPI・就職対応「長文読解」「同音異義語」 「難読語」「多義語」 後期中間試験 言語問題模擬試験(1) SPI・就職対応「長文読解」「初級四字熟語」 SPI・就職対応「長文読解」「中級四字熟語」 「SPI言語分野の実戦問題」 「SPI言語分野の実戦問題」 「SPI言語分野の実戦問題」 「SPI言語分野の実戦問題」 「SPI言語分野の実戦問題」 「難読語の意味・上級四字熟語」 実施する		内容把握・同意・反意語の組み合わせ 空所補助、内容把握、漢字書き方 文章構成・熟語の読み方 文章構成、熟語表現・ことわざ 内容把握と漢字 故事成語・同音異義語の意味 空所補充、内容把握、四字熟語 指示語の指すもの・空所補充・四字熟語 語句の意味・長文読解など 語句の意味・長文読解など 語句の意味・長文読解など 語句の意味・長文読解など 語句の意味・熟語の読み方		
教科書	プリント教材「国語常識問題集、SPI言語問題、就職用漢字書き取り・読み方問題」など。				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、小テスト30%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学(古典) Japanese Literature	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 A	高野 克宏
授業概要	『方丈記』の読解・解釈を通して豊かな言語感覚を養うとともに、先人たちの教養と人生観に接することによって今日的意味を考える。				
到達目標	古文を読解・解釈する基礎的力を身につけるとともに、理解した内容を文章化して表現することができるようになることを目標とする。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	『方丈記』の読解・解釈を通して鴨長明の世界観や人生観を、時代背景と関連付けながら理解する。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	『方丈記』を取り巻く文学状況1 『方丈記』を取り巻く文学状況2 『方丈記』解題1 『方丈記』解題2 鴨長明の人生1 鴨長明の人生2 後期中間試験 『方丈記』本文講読1 『方丈記』本文講読2 『方丈記』本文講読3 『方丈記』本文講読4 『方丈記』本文講読5 『方丈記』本文講読6 『方丈記』本文講読7 『方丈記』本文講読8 実施する		文学史における日記・物語・随筆の位置づけ 代表的随筆『枕草子』『徒然草』について 内容概観 『池亭記』について・題名について 人生の前半と蹉跎 河合社禰宜職獲得の失敗・隠遁生活 「ゆく河の流れは絶えずして・・・」 「予もの心を知れりしより・・・」 「又治承四年卯月のころ・・・」 「又治承四年水無月の比・・・」 「又養和のころとか・・・」1 「又養和のころとか・・・」2 「おほかた、この所に住みはじめし時は・・・」 「抑一期の月かけ傾きて・・・」		
教科書	岩波文庫「方丈記」市古貞次校注 岩波書店				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績100%				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
社会科学特講 I Social Science Seminar I	4	1 (30)	必修	前期 週 2 時間 B	木原 淳
授業概要	現代日本法の基盤である近代市民法の体系と思考について、私法分野を中心に説明する。				
到達目標	現代日本の司法制度に関わる基本的知識を習得する。ルールにしたがって問題解決を図る思考法を身につけること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3), (A-5), (C-3), JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	条文を必ず参照すること。制度や論点の、法典上の位置づけを理解すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第 1週 第 2週 第 3週 第 4週 第 5週 第 6週 第 7週 第 8週 第 9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期末試験	法の概念 法の適用と解釈 市民法の体系 近代市民法の諸原則 権利の主体(1) 権利の主体(2) 権利の主体(3) 権利の客体 法律行為(1) 法律行為(2) 法律行為(3) 債務不履行 不法行為責任(1) 不法行為(2) 刑事責任の根拠 実施する	法概念の多義性と普遍性 紛争の解決 解釈の準則 「市民社会」の構想と市民法の基本構造 近代私法の基本原理とその修正 公法と私法 権利能力の平等と行為能力の制限 法人の役割と分類 会社制度の分類 株式会社制度の意義と構造 物権と債権 法律行為総論 意思表示 心裡留保 虚偽表示 錯誤 詐欺 債務不履行の態様 効果 不法行為法の発展と概要 不法行為法の課題 自由意思論と決定論			
教科書	五十嵐清『私法入門』(改訂版)、有斐閣。;コンサイス判例六法(2006年版)、三省堂。				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を75%、課題を25%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
社会科学特講Ⅱ Social Science Seminar Ⅱ	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 B	吉村 忠晴
授業概要	経済学的視点から、企業経営上の課題を考えるために必要な基本的知識を学習するとともに、企業活動の考察を通じて、経済や社会の動向を把握する。				
到達目標	①企業の利潤最大化行動を理解し、グラフと計算からその解を求めることができる。 ②企業経営における管理・組織・戦略に関する理論を理解し、説明できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(C-1). (C-3). (C-4). (C-6). JABEE基準1(1)との対応:(d)-(2)-d). (h).				
履修上の注意	経済学の学習には、数学に関する基本的知識と計算能力およびグラフの作成・読解力が不可欠となるので、各自復習しておくこと。また、新聞等で常に最新のビジネス動向を把握しておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	経済学の課題 市場メカニズム(1) 市場メカニズム(2) 企業行動の理論(1) 企業行動の理論(2) 企業行動の理論(3) 企業行動の理論(4) 経営学の課題 経営管理論(1) 経営管理論(2) 経営組織論 経営戦略論(1) 経営戦略論(2) 経営戦略論(3) 現代経営の課題・まとめ 実施する	経済学の課題、経済主体と経済活動 市場構造、完全競争市場、市場経済 需要と供給、市場均衡 生産要素、生産関数 費用関数、費用の概念 収入関数、最適生産量 独占市場、独占均衡 ゴーイング・コンサーン、所有と経営の分離 伝統的管理法、人間関係論 モチベーション理論、近代管理論 組織原則、組織の基本構造、職能部門制と事業部制 企業環境、経営戦略の階層、環境分析 多角化戦略、PPM 競争戦略論 コーポレート・ガバナンス、企業の社会的責任、総復習			
教科書	配布プリントを使用する。				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を75%、課題・小テストの成績を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
体育 Physical Education	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 C	秋山 秀博 根本昌樹,五十嵐幸一
授業概要	種目の特性を理解し、互いに協力して安全に練習やゲームができるようにする。				
到達目標	①種目の特性を理解し、高度な運動技能を習得する。 ②ゲームの運営及び審判法を身につける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	現代生活における余暇を自己開発の視点から、とくに生涯スポーツの現代的意義について問題意識を深めよう。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	各種運動 体力テスト 体力テスト テニス テニス テニス テニス ゴルフ ゴルフ ゴルフ ゴルフ ソフトボール ソフトボール ソフトボール ソフトボール 実施しない	体ほぐし 屋内種目 屋外種目 ショートストローク(フォアハンド・バックハンド)、サーブ ストローク(フォアハンド・バックハンド)、ボレー スマッシュ、パッシング、ロブ、簡易ゲーム リーグ戦(ダブルス) グリップの方法、スウィング練習(プラスチックボール) グリップの方法、スウィング練習(実球) スウィング練習(実球)、ショートアイアン ショートアイアンによるショートアプローチ キャッチボール、トスパッティング 守備練習、フリーバッティング ルールの理解、ゲーム ゲーム			
教科書					
参考図書	Active Sports 総合版、大修館				
評価方法	実技評価、レポートを60%、活動記録、課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
第2外国語 I Second Foreign Language I	4	2 (60)	選択	通年 週2時間 B	田村 立波
授業概要	発音の要領と基礎的な文法知識を習得する。				
到達目標	1.中国語発音の特徴や基本構文を正しく理解する。 2.ピンインによる読み書きをこなす。 3.常用の基本表現を身に付ける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-3). JABEE基準I(1)との対応:(a).				
履修上の注意	大きな声で発音の練習をしよう。教科書に付いているCDを活かして復習すること。積極的な授業参加を期待する。TOEICのスコアに基づく受講制限がある。受講者は5年次で英会話Ⅱは受講できない。5年次に選択を希望する場合は、引き続き第2外国語Ⅱのみ受講可能。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	中国及び中国語に関する基礎知識	中国概況、中国語の特徴及び学習の心構え			
第2週	声調と単母音	四声と単母音の発声方法			
第3週	子音と決まり文句	子音の発音と簡単な挨拶ことば			
第4週	複合母音と決まり文句	複合母音の発音と簡単な挨拶ことば			
第5週	複合母音と決まり文句	複合母音の発音と簡単な挨拶ことば			
第6週	発音のまとめと教詞	声調符号の付け方と数字の発音			
第7週	第1課 お名前は何ですか？	人称代名詞と「是」の構文			
第8週	第1課 お名前は何ですか？	自己紹介の基本表現			
第9週	第2課 これは何ですか？	指示代名詞と「的」の用法			
第10週	第2課 これは何ですか？	指示代名詞と「的」の用法			
第11週	第3課 どこへ行きますか？	動詞文と所有の表現			
第12週	第3課 どこへ行きますか？	動詞文と所有の表現			
第13週	第4課 この指輪はいくらですか？	形容詞文と助数詞			
第14週	第4課 この指輪はいくらですか？	形容詞文と助数詞			
第15週	前期のまとめ	既習内容の復習			
前期末試験	実施する				
後期 第16週	第5課 ご飯を済ませましたか？	完了の表現と所在の表現			
第17週	第5課 ご飯を済ませましたか？	完了の表現と所在の表現			
第18週	第6課 今晩は用事がありますか？	日付・時刻の表現			
第19週	第6課 今晩は用事がありますか？	日付・時刻の表現			
第20週	第7課 どこに住んでいますか？	前置詞と反復疑問文			
第21週	第7課 どこに住んでいますか？	前置詞と反復疑問文			
第22週	第8課 週に何時間仕事をしますか？	助動詞と時量の表現			
第23週	第8課 週に何時間仕事をしますか？	助動詞と時量の表現			
第24週	第9課 アメリカに行ったことがありますか？	経験の表現と「是」的の構文			
第25週	第9課 アメリカに行ったことがありますか？	経験の表現と「是」的の構文			
第26週	第10課 酒はどうですか？	補語と可能表現			
第27週	第10課 酒はどうですか？	補語と可能表現			
第28週	第11課 何をしていますか？	進行中の表現と選択疑問文			
第29週	第11課 何をしていますか？	進行中の表現と選択疑問文			
第30週	後期のまとめ	既習内容の復習			
後期末試験	実施する				
教科書	竹島 金吾 監修「最新版 中国語はじめての一步」白水社 相原 茂 編著「はじめての中国語学習辞典」朝日出版社				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を80%、小テストや課題を20%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語 English	5	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	機・建 中山 悟視 電・物:坂内 昌徳
授業概要	様々な話題を取り上げた英文にふれ、語彙力、読解力を養う。またCALLによるTOEIC演習を行い、スコアの向上をめざす。				
到達目標	①TOEICにおいて望ましい得点を取得することができる。 ②テキストに使用されている語彙・文法・構文を速く正確に理解できる。 ③テキストが伝えようとする内容を速く正確に理解できる。 ④習得した表現を用いて簡単な英語表現を行うことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6). JABEE基準1(1)との対応:(0).				
履修上の注意	辞書を用い内容を自分なりに把握して授業に参加すること。また、語彙の習得をはかるため反復練習をしてほしい。TOEICのスコアを向上させるべく自学自習を心がけることが望ましい。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	Unit 13 / TOEIC演習		Switch to Euro Cash Begins		
第2週	Unit 13 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening練習		
第3週	Unit 14 / TOEIC演習		Bush Joins Carmakers in Push for Fuel Cells		
第4週	Unit 14 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening 練習		
第5週	Unit 15 / TOEIC演習		Crowds Gather To View Eclipse		
第6週	Unit 15 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening 練習		
第7週	前期中間試験				
第8週	Unit 16 / TOEIC演習		Center Turns Waste Into Fuel		
第9週	Unit 16 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening 練習		
第10週	Unit 17 / TOEIC演習		Johnson Likely Hall of Famer		
第11週	Unit 17 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening 練習		
第12週	Unit 18 / TOEIC演習		Woods Wins Third Masters Golf Title		
第13週	Unit 18 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening 練習		
第14週	TOEIC演習				
第15週	まとめ				
前期期末試験	実施する				
教科書	Surf Our World、南波佐間康行ほか、成美堂				
参考図書					
評価方法	定期試験を50%、TOEICを30%、小テスト・課題等を20%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人間科学特講 Human Studies	5	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	川崎 俊郎 笠井 哲
授業概要	前期では、近代以降の日本における、産業と経済の歴史について理解を深める。後期は、科学技術史と技術者倫理(含ビジネス倫理)の基本を学び、事例研究で倫理的判断を学習する。				
到達目標	①近代日本における資本主義と西洋技術の受容が果たした役割を理解できる。 ②日本の経済成長において、政府の財政・金融政策、産業政策が果たした役割を理解できる。 ③近代以降の科学技術の歴史を概観し、その中における科学技術と社会との関わりについて理解することで、技術者倫理の必要性を認識することができる。 ④技術者倫理(含ビジネス倫理)の基礎を理解するとともに、実事例のグループ討議等の模擬体験学習を通して、倫理的な判断力を身につけることができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5). JABEE基準1(1)との対応:(a). (b)				
履修上の注意	板書を写すだけのノートは作らないこと。自分のノートを「作る」ように心がけること。グループ討議は、いわばロールプレイであるが、本当に自分の問題と考えて参加すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	近代経済成長の始まり	経済成長の理論と実際、江戸時代の日本経済			
第2週	開港と維新	鎖国の意義、プロト工業化			
第3週	殖産興業1	明治政府の産業政策			
第4週	殖産興業2	松方財政の意義、ヨーロッパ諸国との比較			
第5週	産業化の時代1	軽工業の産業革命、日清戦争の影響			
第6週	産業化の時代2	重工業の産業革命、日露戦争の影響			
第7週	産業化の時代3	日本における技術革新とその限界			
第8週	二重構造1	都市化と技術社会、第一次世界大戦の影響			
第9週	二重構造2	農村問題、世界恐慌の影響			
第10週	計画化と民主化1	統制経済、共産主義、第二次世界大戦の影響			
第11週	計画化と民主化2	戦後改革、朝鮮特需、基軸通貨ドル			
第12週	高度経済成長1	企業投資と財政・金融政策の効果			
第13週	高度経済成長2	人口移動、産業人口構成の変化、教育の変化			
第14週	高度経済成長3	公害問題、石油危機、高度成長終了の要因			
第15週	日本経済の歴史と特徴	前期授業の総括			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	17世紀科学革命とは何か	近代科学の誕生、科学革命の背景と意義			
第17週	ベーコンとデカルト	近代哲学と科学技術の成立			
第18週	産業革命と資本主義社会の形成	近代職業倫理と資本主義の精神			
第19週	日本のものづくりと職人の技	技術と技能、技術の伝来			
第20週	二度の世界大戦と科学技術	第一次大戦と化学兵器、第二次大戦と原子爆弾			
第21週	発達した資本主義と発展途上国	人口の爆発、南北格差			
第22週	米ソ冷戦時代の科学技術	核とコンピュータの開発、日本の高度成長と技術			
第23週	豊かな生活と環境への負荷1	自然権思想の拡大、宇宙船地球号			
第24週	新しい倫理の課題	ビジネス倫理と技術者倫理			
第25週	何のための、誰のための科学技術か	地球全体のための科学技術			
第26週	倫理綱領ないし倫理規定	倫理綱領の意義と規定内容			
第27週	テクノロジーアセスメント	テクノロジーアセスメントとリスクアセスメント			
第28週	内部告発と説明責任に関する事例研究	組織における技術者、公衆に対する責任			
第29週	安全性とコスト、PL法に関する事例研究	トレードオフ、法的・倫理的責任			
第30週	まとめ	専門職業人の使命			
後期期末試験	実施する				
教科書	前期は「詳説日本史B」山川出版社(2年次の日本史で使用)を利用する。後期は、「技術者倫理」松島隆裕編、学術図書出版社を使用する。				
参考図書	前期は「日本経済史 全8巻」、梅村又次ほか編、岩波書店。 後期は新聞、ビデオを使用する。				
評価方法	定期試験75%、課題およびレポート25%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
体育 Physical Education	5	1 (30)	必修	前期 週2時間 C	秋山 秀博 根本昌樹,五十嵐幸一
授業概要	種目の特性を生かし、より高度な練習やゲームができるようにする。				
到達目標	①各自の特性を生かし、社会人として役立つ専門知識と高度な実践的運動技術を習得する。 ②生涯を通じて継続的に運動を実践できる能力を身につける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4).				
履修上の注意	現代生活における余暇を自己開発の視点から捉えるとともに、生涯スポーツの現代的意義についての問題意識を深めよう。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	オリエンテーション	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第2週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第3週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第4週	各班ごとの体育活動G	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第5週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第6週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第7週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第8週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第9週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第10週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第11週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第12週	水泳	クロール・平泳ぎ			
第13週	水泳	長距離泳・時間泳			
第14週	体力テスト	屋内種目			
第15週	体力テスト	屋外種目			
前期期末試験	実施しない				
教科書					
参考図書	Active Sports 総合版、大修館				
評価方法	実技評価、レポートを60%、活動記録、課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英会話Ⅱ English Conversation II	5	2 (60)	選択	通年 週2時間 C	坂内 キャシー
授業概要	This course will use English to examine a variety of everyday situations. The focus of the class will be on spoken; written; and listening exercises.				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Acquire the ability to play an active role in English conversations thereby keeping the conversation going. 2. Gain fluency in expressing opinions on various subjects, with supporting reasons. 3. Develop their ability to make more substantial presentations in English. 4. Improve their skill at listening for both context and specific information, both implicit and explicit, from longer texts. 				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). JABEE基準1(i)との対応:(f).				
履修上の注意	Students are expected to actively participate in a variety of activities in class. 4年次に第2外国語Ⅰを受講しなかった者のみを対象とする。TOEICのスコアに基づく受講制限がある。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	Orientation	Discussing course format; presenting personal information.			
第2週	Unit 1	Present conditional; recommending; information about places.			
第3週	Unit 1	Present conditional; recommending; information about places.			
第4週	Unit 1	Present conditional; recommending; information about places.			
第5週	Unit 2	Tags, etc; responding to statements; (package holidays, etc.)			
第6週	Unit 2	Tags, etc; responding to statements; (package holidays, etc.)			
第7週	Unit 3	Phrasal verbs; offering to do things; (renting a car; experiences).			
第8週	Unit 3	Phrasal verbs; offering to do things; (renting a car; experiences).			
第9週	Unit 4	Was going to; complaining about purchases; (things for sale, etc.)			
第10週	Review Test 1	Was going to; complaining about purchases; (things for sale, etc.)			
第11週	Unit 5	Used to; complaining about behaviour; (London to Amsterdam, etc.)			
第12週	Unit 5	Used to; complaining about behaviour; (London to Amsterdam, etc.)			
第13週	Unit 6	Probability; asking for and giving advice; (apartments for rent, etc.)			
第14週	Unit 6	Probability; asking for and giving advice; (apartments for rent, etc.)			
第15週	English Language Games	Probability; asking for and giving advice; (apartments for rent, etc.)			
前期期末試験	実施しない				
後期 第16週	Discussing the summer vacation	Probability; asking for and giving advice; (apartments for rent, etc.)			
第17週	Unit 7	Use of the passive; asking and giving options; (computer date, etc.)			
第18週	Unit 7	Use of the passive; asking and giving options. (computer date, etc.)			
第19週	Unit 8	Too.../not...enough; agreeing and disagreeing; (crimes, etc.)			
第20週	Unit 8	Too.../not...enough; agreeing and disagreeing; (crimes, etc.)			
第21週	Review Test 2	Too.../not...enough; agreeing and disagreeing, etc.			
第22週	Unit 9	Reporting statements; making phone calls, (news, taking a message)			
第23週	Unit 9	Reporting statements; making phone calls, (news, taking a message)			
第24週	Unit 10	Reporting questions; communication strategies.			
第25週	Unit 10	Reporting questions; communication strategies.			
第26週	Discussing the Winter	Reporting questions; communication strategies.			
第27週	Unit 11	Adverb clauses; appointments, (two islands; opening a bank account)			
第28週	Unit 11	Adverb clauses; appointments, (two islands; opening a bank account)			
第29週	Review Test 3	Adverb clauses; appointments, (two islands; opening a bank account)			
第30週	English Board Games	Adverb clauses; appointments, (two islands; opening a bank account)			
後期期末試験	実施しない				
教科書					
参考図書					
評価方法	平素の成績(小テスト、課題等)を100%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
第2外国語Ⅱ Second Foreign LanguageⅡ	5	2 (60)	選択	通年 週2時間 B	田村 立波
授業概要	既習得の基礎知識を活かしながら、聴く・話す・書くといった総合的な練習を行う。 中国に関する多面的な情報を適宜に取り入れる。				
到達目標	1. ピンインを習熟する。 2. 単語及び基本構文の充実を通じて、コミュニケーションに必要な基礎的語学力を養う。 3. 中国の文化や社会事情に対する理解を深める。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	大きな声で発音の練習をしよう。教科書に付いているCDを活かして復習すること。 積極的な授業参加を期待する。4年次に第2外国語Ⅰを受講した者のみが受講できる。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	前学年の続き。第14課		処置の表現と受身・使役の表現		
第2週	第14課 辞書を貸してくれませんか		処置の表現と受身・使役の表現		
第3週	第15課 雨が降ってきました		存現文と助動詞「会」の用法		
第4週	第15課 雨が降ってきました		存現文と助動詞「会」の用法		
第5週	新教科書 第1課 中国に行こう		主述述語文		
第6週	第1課 中国に行こう		主述述語文		
第7週	第2課 ウーロン茶を飲もう		原因の表現		
第8週	第2課 ウーロン茶を飲もう		原因の表現		
第9週	第3課 友達をつくろう		連動文		
第10週	第3課 友達をつくろう		連動文		
第11週	第4課 長城に登ろう		「了」の3つの用法		
第12週	第4課 長城に登ろう		「了」の3つの用法		
第13週	第5課 漢字を覚えよう		結果補語と仮定の表現		
第14週	第5課 漢字を覚えよう		結果補語と仮定の表現		
第15週	前期のまとめ		既習内容の復習		
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	第6課 街を歩こう		存現文と「又～又～」の表現		
第17週	第6課 街を歩こう		存現文と「又～又～」の表現		
第18週	第7課 中国映画を見よう		持続の表現と部分否定		
第19週	第7課 中国映画を見よう		持続の表現と部分否定		
第20週	第8課 シルクを買おう		方向補語と使役の表現		
第21週	第8課 シルクを買おう		方向補語と使役の表現		
第22週	第9課 中華を食べよう		可能補語と強調の表現		
第23週	第9課 中華を食べよう		可能補語と強調の表現		
第24週	第10課 太極拳を習おう		目的の表現と推測の表現		
第25週	第10課 太極拳を習おう		目的の表現と推測の表現		
第26週	第11課 水滸伝を楽しもう		結果補語と受身の表現		
第27週	第11課 水滸伝を楽しもう		結果補語と受身の表現		
第28週	第12課 春節を過ごそう		処置の表現と「快～了」の用法		
第29週	第12課 春節を過ごそう		処置の表現と「快～了」の用法		
第30週	後期のまとめ		既習内容の復習		
後期期末試験	実施する				
教科書	竹島 金吾 監修「新版 中国語さらなる一歩」白水社 相原 茂 編著「はじめての 中国語学習辞典」朝日出版社 2002年2月10日				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を80%、小テストと課題を20%で総合的に評価する。				